

Borland® StarTeam® 2009

StarTeam Layout Designer ヘルプ

Borland®

Borland Software Corporation
8310 N Capital of Texas Hwy, Bldg 2, Ste 100
Austin, Texas 78731 USA
www.borland.com/jp

Borland Software Corporation は、本書に記載されているアプリケーションに対する特許を取得または申請している場合があります。該当する特許のリストについては、製品 CD または情報ダイアログ ボックスをご覧ください。本書の提供は、これらの特許に関する権利を付与することを意味するものではありません。

Copyright © 1995–2009 Borland Software Corporation およびその関連会社。すべての Borland のブランド名および製品名は、米国およびその他の国における Borland Software Corporation の商標または登録商標です。その他のブランドまたは製品名は、その著作権所有者の商標または登録商標です。

2009 年 6 月
PDF

Layout Designer

入門	7
StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス	8
概念	10
StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ	11
StarTeam 組み込みワークフローのカスタマイズ	12
コントロール	14
ユーザー定義プロパティ フィールド	16
手順	18
代替プロパティエディタ(APE)でクライアントをカスタマイズする	19
StarTeam Layout Designer を起動して、フォームを開く	21
[詳細] ペインのカスタマイズ	22
Notification Agent が使用する HTTP サーバーのポート番号を変更する	23
カスタム プロパティ フィールドを表示する	24
コントロールのタブ順序を変更する	25
ステータス通知受信者リストとメッセージを作成する	26
タブを編集する	28
テキスト フィールドを設定する	30
フォームのプロパティを編集する	31
フォームをアクティブにする	32
プロパティ コントロールのインスタンスを作成する	33
プロパティ フィールドを新規作成する	36
ユーザー ID フィールドを設定する	38
ワークフロー ファイルにおいて、リンクの条件をテキストで表示する	39
ワークフロー ファイル内でステップを条件付きでリンクする	40
ワークフロー ファイル内でステップを自動的にリンクする	41
ワークフロー ファイル内のステップを手動でリンクする	42
ワークフロー ファイル内のデフォルト リンク配色を変更する	43
ワークフロー ファイル内のリンクを再配置する	44
ワークフロー ファイル内の時刻指定のステップを作成する	45
代替プロパティ エディタを使用するためにプロジェクトを構成する	46
列挙型フィールドを設定する	47
列挙型プロパティを作成する	48
新しいフォームを保存する	49
日付/時刻フィールドを設定する	50
表示名と列挙値を関連付ける	51
複合コントロールを作成する	52
非プロパティ コントロールのインスタンスを作成する	53
参照	55
StarTeam Layout Designer 参照	56
利用可能なプロパティ タイプ	57
プロパティ コントロール属性	58
非プロパティ コントロール属性	61
複合コントロール属性	63
StarTeam Layout Designer XML タグ	64
approvalTasks	66
attachments	67
browseFileButton	68
browseFolderButton	69
checkbox	70
controlGroup	71
dateTime	72
droplist	73
edit	74

eolSettings	75
form	76
itemHistory	77
itemLabels	78
itemLinks	79
itemReferences	80
label	81
listbox	82
pathSettings	83
property	84
propertyDialog	85
propertyList	86
propertyPage	87
propertySheet	88
radio	89
radioset	90
runCommandButton	91
static	92
taskDependencies	93
toBeReviewed	94
userList	95
workRecords	96



Layout Designer

このセクションでは、Layout Designer の使用に関連する手順、概念について説明します。

このセクションの内容

[入門](#)

ソフトウェア変更管理に関する基本概念を説明します。

[概念](#)

ここでは、概念について説明します。

[手順](#)

ここでは、StarTeam の利用と管理に関連するすべてのタスクについて説明します。

[参照](#)

ここでは、参照情報を提供します。

入門

StarTeam をご利用いただきありがとうございます。

ソフトウェア変更管理に関する基本概念を説明します。

このセクションの内容

[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

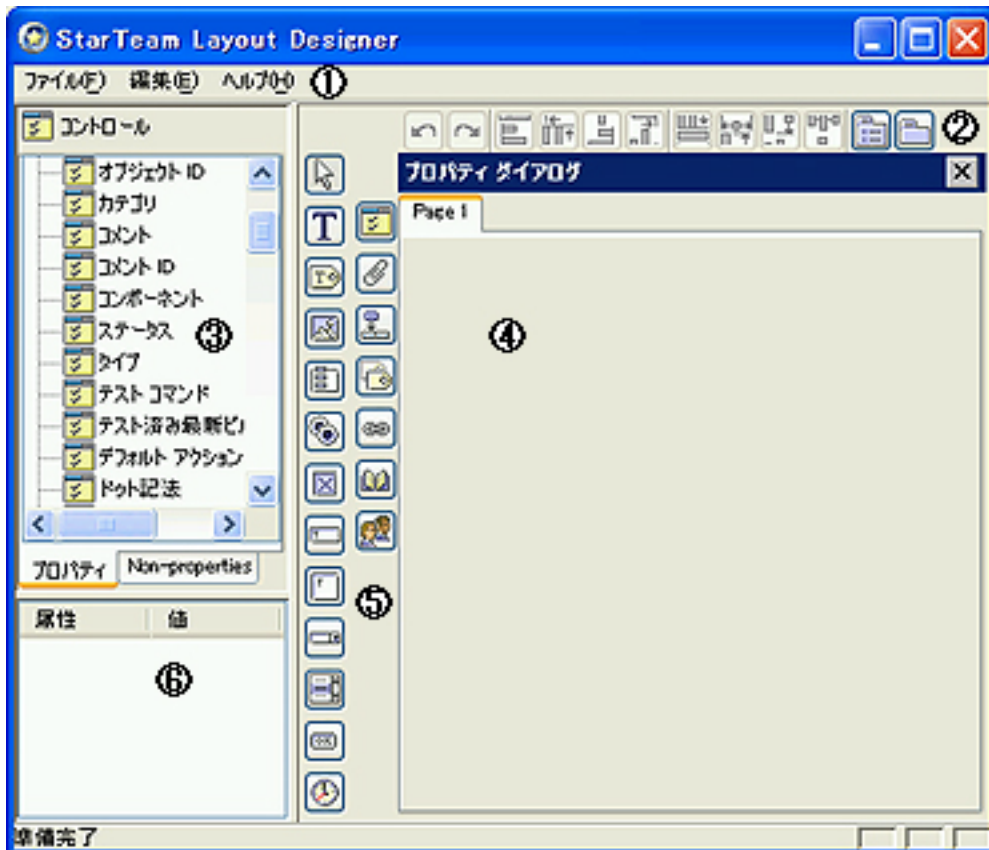
Layout Designer のユーザー インターフェイスについて説明します。

StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス

ここでは、StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイスについて説明します。

- ◆ Layout Designer ウィンドウのコンポーネント
- ◆ フォーム レイアウト領域の理解

Layout Designer ウィンドウのコンポーネント




- ① メインメニュー ③ コントロールペイン ⑤ ツールパレット
② 編集ツールバー ④ フォームレイアウト エリア ⑥ プロパティペイン

Layout Designer のメイン ウィンドウには、1 つのメニューと 3 つのペインがあります。メニューには、フォームの作成と保存、編集、および整列を行うためのオプションが用意されています。

左上のコントロール ペインには、利用可能なすべてのコントロール タイプが一覧表示されています。コントロールがフォームに追加されると、そのコントロールの名前が、該当するコントロール タイプの下に表示されます。コントロールは、単一プロパティコントロール、単一非プロパティコントロール、複合コントロールの 3 つのグループに分類されます。フォーム レイアウト領域でコントロールを選択すると、左下の プロパティ ペインに、選択されたオブジェクトのプロパティが属性/値のペアとして表示されます。フォーム レイアウト領域の左側にあるツール パレットには、利用可能な各コントロールを描画するためのツール ボタンが用意されています。コントロール ペインの [プロパティ] タブから、コントロールをレイアウト領域にドラッグ & ドロップすることもできます。

フォーム レイアウト領域にコントロールを描画する場合は、ツール パレットのコントロール ツール ボタンをクリックして、マウス ポインタを十字形に変更すると、選択したタイプのオブジェクトをフォームに描画できるようになります。コントロールを描画すると、ポインタが元の状態に戻り、その新しいコントロールが自動的に選択されます。ツール パレットのコントロー

ル ツール ボタンをクリックした後で、それを取り消す場合は、[ポインタ]  ツール ボタンをクリックします。ポインタが元の状態に戻り、フォーム上に既に作成済みのオブジェクトの選択、サイズ変更、および移動が可能になります。

フォーム レイアウト領域の理解

フォーム レイアウト領域には、フォームを設計するためのスペース、ツールバー、および 2 つのツール パレットが用意されています。

- ◆ フォーム レイアウト領域は、フォームを設計するスペースです。
- ◆ このペイン上部の編集用ツールバーを利用すると、さまざまな編集機能に素早くアクセスできます。
- ◆ コントロール ペインの単一コントロール ツール パレットを利用すると、テキスト ラベル、チェック ボックス、ラジオ ボタン グループなどのコントロールをフォーム レイアウト領域に描画できます。
- ◆ ツール パレットを利用すると、複合コントロールをフォーム レイアウト領域に描画できます。複合コントロールとは、連携する複数の単一コントロールが一体になったもので、たとえば、[追加] ボタンと [削除] ボタンを備えたユーザー リスト コントロールなどがあります。

フォーム レイアウト領域には、実行時に表示されるフォームとほぼ同じ外見が表示されます。実行時の外見は、最終的には、フォームが実行されるプラットフォームのレンダリング エンジンによって決定されます。希望する実行時の外見に合わせてコントロールのサイズ、整列、および配置を決めることはもちろん重要ですが、コントロールの整列と位置決めのプロパティを正しく設定することも、それと同じくらい重要です。整列プロパティ値の多くは、フォーム レイアウト領域での要素の位置には影響を及ぼしませんが、実行時にはターゲット プラットフォームのレンダリング エンジンによって要素の位置決め利用されます。デフォルトでは、レイアウト領域には **Page 1** というラベルのタブを 1 つ備えたダイアログが表示されます。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

概念

ここでは、概念について説明します。

このセクションの内容

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)

StarTeam Layout Designer を使ったプロパティ ダイアログのカスタマイズに関する概念を説明します。

StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ

ここでは、StarTeam Layout Designer を使ったプロパティ ダイアログのカスタマイズに関する概念を説明します。

このセクションの内容

[StarTeam 組み込みワークフローのカスタマイズ](#)

StarTeam Layout Designer の作業の概念について説明します。

[コントロール](#)

Layout Designer のさまざまな種類の描画コントロールについて説明します。

[ユーザー定義プロパティフィールド](#)

Cross-Platform Client でのユーザー定義プロパティ フィールドの追加に関する概念を説明します。

StarTeam 組み込みワークフローのカスタマイズ

StarTeam Layout Designer を Cross-Platform Client とともに使用して、組み込みの StarTeam ワークフローに従うプロパティ ダイアログの作成と維持管理を行うことができます。

ここでは、次のことがらについて説明します。

- ◆ StarTeam Layout Designer の目的
- ◆ StarTeam Layout Designer の機能
- ◆ フォーム設計のガイドライン
- ◆ フォーム設計の概要
- ◆ フォームの保存について

StarTeam Layout Designer の目的

デフォルト プロパティは多くの場合に適していますが、ユーザーの所属組織のニーズに合わせてこの製品をカスタマイズすることもできます。可能なカスタマイズの内容としては、既存のプロパティに対する値の追加や削除と、アイテムへの新しいプロパティと値の追加があります。追加したプロパティと値によって、ユーザーの所属組織にとって関心のある情報を追跡できます。

注: StarTeam Layout Designer を Cross-Platform Client とともに使用すると、アイテム(変更要求や要件など)を管理するカスタム ワークフローを作成することはできません。カスタム ワークフローを作成するには、StarTeam Extensions を使用します。

Layout Designer を利用すると、アプリケーションに含まれているフォームをカスタマイズすることができます。カスタム フォームは、カスタム プロパティの表示、ユーザーの所属組織にとって関心のないデフォルト プロパティの非表示、あるいは所属組織の要件に合わせたインターフェイスの手直しなどに使用することができます。

StarTeam Layout Designer の機能

StarTeam Layout Designer を利用すると、あらゆるコンポーネント タイプのカスタム フォームを作成して、Cross-Platform Client や Web Client に導入することができます。フォームのアイテム プロパティは、デフォルトとカスタムの両方について、すばやく、簡単に追加、調整することができます。Layout Designer では、マルチタブ形式のフォームとユーザー インターフェイスの標準的なコントロール コンポーネント(ラジオ ボタン、チェック ボックス、リスト ボックス、コマンド ボタンなど)をサポートしています。

フォーム設計のガイドライン

使用に適した有用なカスタム フォームを作成するには、以下のガイドラインが参考になるでしょう。

- ◆ 左から右へ、上から下へとユーザーが一方向に指定していけるようにフォームを設計すること。ユーザーに後戻りさせないようにします。フォームの最上部で変更が必要になるようなチェック ボックスを最下部に配置しないでください。
- ◆ フィールドのラベルは明確かつ簡潔で指示的なものにし、同じものが複数存在しないようにすること。ラベルの重複は混乱の元です。
- ◆ 利用可能な場合はアクセス キーを使用して、ユーザーがキーボードを使ってフィールドにアクセスできるようにすること。アクセス キーはできるだけ覚えやすいものにし、1 つのタブで同じアクセス キーが複数存在しないようにします。
- ◆ 整然としたフォームにするには、フォームのフィールドとラベルをすべて、目に見えないグリッド上に整列させること。

- ◆ 関係のあるフィールドは論理的なグループとしてまとめること。フィールド同士の間隔を狭めれば、それらが相互に関連しているように見え、間隔を広げれば、それと反対の効果が生じます。

フォーム設計の概要

StarTeam Layout Designer でカスタム フォームを作成する場合、次のタスクを実行します。

- 1 フォームを立案します。
- 2 StarFlow Extensions プロジェクトに適切なフォルダを作成します。
- 3 Layout Designer を起動し、フォーム レイアウト領域でフォームを設計します。
- 4 StarTeam Extensions プロジェクト内の適切なプロジェクト フォルダにフォームを保存します。
- 5 フォームをアクティブにします。

注: StarTeam Layout Designer をインストールする前に、フォームが作成され使用されるサーバーに StarFlow Extensions プロジェクトが存在することを確認めます。フォームの設計を開始する前に、必要なプロジェクト フォルダを作成してください。

フォームの保存について

デフォルトでは、StarTeam Server のインストール時に、インストーラが StarFlow Extensions プロジェクトを自動的にインストール、作成します。「StarFlow Extensions」プロジェクトには *Projects* というフォルダが含まれています。このプロジェクトを使用して、自分のカスタム Layout Designer フォームを保存する必要があります。

Projects フォルダ内に保存したフォームは、サーバー上のプロジェクトで以下のように使用されます。

- ◆ Projects フォルダにカスタム フォームを保存した場合、それは、より低いレベルのフォームのほうが優先しない限り、サーバー上のすべてのプロジェクトで使用されます。
- ◆ Projects フォルダの下に *myproject* フォルダを作成した場合、そのフォルダ内に保存したフォームはすべて、「StarFlow Extensions」プロジェクトが含まれているサーバー上の *myproject* というプロジェクトで使用されます。
- ◆ *myproject* フォルダの下に *myview* フォルダを作成した場合、その中に保存したフォームは指定されたプロジェクトの *myview* ビューで使用されます。

レイアウト ファイルには、特別なファイル名を使用する必要があります。ファイル名では大文字と小文字は区別されます。ファイル名が正しくない場合、クライアントではそのファイルを見つけることも使用することもできません。StarTeam Layout Designer は、*.Layout.xml ファイルを出力します。各アイテム タイプで、次のファイル名がサポートされます。

ファイル	File.Layout.xml
変更要求	ChangeRequest.Layout.xml
要件	Requirement.Layout.xml
タスク	Task.Layout.xml
トピック	Topic.Layout.xml

コントロール

コントロールとは、リスト ボックス、チェック ボックス、ラジオ ボタン、ラベルなどのオブジェクトのことです。コントロールは情報表示のためにフォームに配置され、ユーザーによる値の選択やシステムへの情報入力を可能にします。Layout Designer では、コントロールは以下の 3 種類に分類されます。

- ◆ 単一プロパティ コントロール
- ◆ 単一非プロパティ コントロール
- ◆ 複合コントロール

単一プロパティ コントロール

単一プロパティ コントロールは、変更要求アイテムのタイプや重要度などのアイテム プロパティに直接リンクされる特定のコントロールです。プロパティ コントロールは、アイテム プロパティをフォームに表示します。プロパティ コントロールはアイテムの 1 つのプロパティに直接リンクした単一コントロールで、そこにはそのプロパティの現在の値が表示されます。さらに、設定によってはそのプロパティの新しい値をユーザーが選択できるようにすることもできます。1 つのプロパティは、別々のタブであれば、1 つのフォーム内に複数回表示できます。ただし、フォーム内の 1 つのタブには、1 つのプロパティを 1 回しか表示できません。

各アイテム プロパティにはデフォルトの表現形式があります。たとえば、列挙タイプのプロパティは、デフォルトではコンボ ボックス コントロールで表現されます。Layout Designer を利用すると、プロパティをデフォルトの表現形式で手軽にフォームに追加することもできますし、別の表現形式を選択することもできます。

たとえば、変更要求アイテムの場合、**タイプ** プロパティは**障害と提案**の 2 つの値を持つ列挙タイプになります。このプロパティは列挙タイプなので、デフォルトではコンボ ボックス コントロールで表現されます。ただし、これは、相互排他的な選択肢から成る小さなリストなので、ラジオ セットで表現することも容易です。実際には、2 つの値しか取らないので(変更要求は提案か、提案でないかのいずれかである)、チェック ボックスで表現することも可能です。

単一非プロパティ コントロール

非プロパティ コントロールは、アイテム プロパティにリンクされない単独のコントロールです。非プロパティ コントロールには、ラベル、グループ、画像、スタティック テキストがあります。これらは、ラベル、ヘルプ テキスト、および画像(会社のロゴなど)をフォームに追加するために使用できます。

複合コントロール

複合コントロールは、任意の数の単一コントロールから構成されるコントロールです。一般に、StarTeam 内の対応するインターフェイスと同じコンポーネントが含まれています。複合コントロールには、[追加] ボタンと [削除] ボタンの付いたユーザー リスト コントロールなどのコントロールがあります。複合コントロールを使用すると、簡単にユーザー インターフェイスの一部をそっくりフォームに組み込むことができます。複合コントロールは、タブに配置される唯一のコントロールでなければなりません。複合コントロールが含まれているタブに単一コントロールを 1 つ以上追加すると、それらの単一コントロールは実行時に別のタブに配置されます。

複合コントロールの境界ボックスは、そのコントロールに含まれるすべてのコンポーネントによって占有される領域全体を表します。このコントロールに含まれる特定コンポーネントのレイアウトは、クライアント アプリケーション側で決定する必要があります。コントロール内の特定のコンポーネントには、タブ インデックス値、アクセス キー、およびツールチップ テキストを割り当てることができます。これはこのコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

複合コントロールには以下のものがあります。

- ◆ カスタム プロパティ リスト コントロール
- ◆ 添付ファイル コントロール

- ◆ アイテム履歴コントロール
- ◆ アイテム ラベル コントロール
- ◆ アイテム リンク コントロール
- ◆ アイテム参照コントロール
- ◆ ユーザー リスト コントロール

すべてのコントロールが持つコントロール属性

すべてのコントロールが以下の属性を持ちます。

Name	コントロールの一意的な名前。デフォルトでは、これらの一意的な名前は、プロパティ名またはコントロール名の後に 2 桁の通し番号を付けて自動的に生成されます。
X Position	コントロールの左上隅の X 座標(フォームの X 軸方向すなわち横軸方向の位置)をダイアログ単位* で表したものです。
Y Position	コントロールの左上隅の Y 座標(フォームの Y 軸方向すなわち縦軸方向の位置)をダイアログ単位* で表したものです。
Width	コントロールの横方向の長さをダイアログ単位* で表したものです。
Height	コントロールの縦方向の長さをダイアログ単位* で表したものです。
Auto Move	(省略可能)ダイアログのサイズが変更されたときにコントロールが自動的に位置を変更できるかどうかを指定します("None"、"Horizontal"、"Vertical"、"Both" のいずれか)。デフォルトは "None" です。
Auto Size	(省略可能)ダイアログのサイズが変更されたときにコントロールが自動的にサイズを変更できるかどうかを指定します("None"、"Horizontal"、"Vertical"、"Both" のいずれか)。デフォルトは "None" です。

注: * ダイアログ単位はプラットフォームに依存しない測定単位で、ターゲット プラットフォームのレンダリング エンジンによって、実行時に表示フォントのサイズを考慮してピクセル数に変換されます。

さらに、すべての**プロパティ**コントロールは以下の属性を持ちます。

プロパティ	コントロールがフォームに表示するアイテム プロパティの名前。
Tab Index	(省略可能)ユーザーが Tab キーを使ってフォーム内の挿入ポイントを移動するときにコントロールにフォーカスが来る順番。
Info-Tip	(省略可能)マウス ポインタをコントロールの上で静止させたときにポップアップするツールチップに表示されるテキスト。テキストが入力されていない場合は、ツールチップはポップアップしません。

ユーザー定義プロパティ フィールド

StarTeam Enterprise Advantage ライセンスおよび Enterprise ライセンスでは、ファイル、変更要求、要件、トピック、およびタスクにユーザー定義のプロパティを追加することで、リポジトリをカスタマイズすることができます。

また、既存のアイテムのなかにはプロパティを変更できるものもあります。たとえば、**優先度** 変更要求フィールドはカスタマイズできます。デフォルト値 ([あり] と [なし]) を使用せずに、StarTeam で変更要求の優先度の範囲を 1 (高) から 10 (低) にするようにアイテムのプロパティを変更することができます。

アプリケーションでは、現在のサーバー構成で使用されるデータベースに新しいプロパティ フィールドと変更したプロパティ フィールドを追加します。これらのフィールドは、他のアイテム プロパティ フィールドと同じ場所にあります。

注: データベースのカスタマイズ中は、`stcmd` コマンドラインを使ってサーバーを排他的にロックする必要があります。詳細については、このトピックの最後に挙げたリンク「サーバーのロックとロック解除」を参照してください。

既存のフィールドの変更

既存のプロパティ フィールドのいくつかと、作成したカスタム フィールドを変更することができます。変更できるプロパティ フィールドは列挙型のみです。

たとえば、**優先度** は、カスタマイズできる既存の変更要求プロパティです。**変更要求** のプロパティ ダイアログ ボックスの概要 タブでは、**優先度** には *あり* と *なし* の値が設定されていますが、*あり* は数値コードの *1*、*なし* は数値コードの *0* で列挙型として実装されています。変更要求の優先度を 1 (高) から 10 (低) の範囲で設定したい場合は、値を追加することができます。現在の数値コードの *0* と *1* に新しい名前をつけて使用するか、または無効にすることもできます。

ヒント: 既存のコードをなんらかの方法で活用してみましょう。

たとえば、列挙値の名前を *No* から *Not Prioritized* に変更します。そうすると、**優先度** が *0* に等しいものを検索して、優先する必要のある変更要求を見つけ出すことができます。

また、すでにコード *1* があるので、名前 *Yes* も *Priority 1* に変更します。次に、*Priority 2* から *Priority 10* についても値を追加します。割り当てる数値コードは 100 より大きな値でなければなりません。0 ~ 100 は、アプリケーションが内部使用のために確保しているからです。そのため、*Priority 2* という名前で数値コード *101* を追加し、*Priority 3* は *102*、というように値を追加します。

ヒント: クエリでは、数値コードを使用して、列挙値をベースにした比較を行います。上記のコードを使用すると、[Priority 1]、[Priority 2]、[Priority 3] を探すためのクエリは、[優先度] が 0 より大きく、かつ、103 より小さいものを問い合わせるように作成することができます。

デフォルトでは、ソートおよびリスト ボックスでは、アイテムを **フィールドの追加** または **フィールドの変更** のダイアログで表示される順に表示します。ソートオプションを使用して、名前を ASCII 順、つまり、アルファベット順にソートすることができます。

表示名と列挙値の翻訳

カスタム フィールドを作成する際、そのフィールドに表示名を付けます。そのフィールドを列挙型として作成する場合、列挙値にも名前を付ける必要があります。クライアントは、その名前をすべて、ユーザーにも表示します。フィールド作成時に指定した名前は、そのフィールドのデフォルト名になります。

カスタム フィールドの名前に対して変換 (翻訳) のセットアップを行わない場合は、ユーザーには常にデフォルト名が表示されます。しかし、そのフィールドに関連付けられた名前を変換する場合は、クライアントのオペレーティング システムに対して指定したロケール用に用意した名前をユーザーに表示します。

たとえば、デフォルト名をすべて英語で指定したカスタム フィールドを考えてみましょう。その名前 (表示名といくつかの列挙値) をフランス語に翻訳します。フランス語版オペレーティング システムを使用するクライアントのユーザーには、そのフランス語の名前が表示されます。それ以外の言語のユーザーには、デフォルト名が表示されます。

さらに複雑な例では、ロケールと言語がどのように定義されているかを理解する必要があります。各ロケールまたは言語は、ほとんどの場合、ハイフンで区切られた 3 つの部分を使って定義します。3 つの部分によって、言語自体、それが話される国、およびその言語の異型を表します。大半の言語は、最初の 2 つの部分で表されます。

たとえば、オランダ語の場合、言語テーブルには次の 3 つのエントリがあります。

- ◆ オランダ語[nl]
- ◆ オランダ語(ベルギー)[nl-BE]
- ◆ オランダ語(オランダ)[nl-NL]

角括弧の部分は、ロケールまたは言語を表します。この場合、[nl] は一般的なオランダ語を表し、[nl-BE] および [nl-NL] はそれぞれベルギーおよびオランダで話され、書かれているオランダ語を表します。

カスタム フィールドの名前を一般的なオランダ語に翻訳すれば、その名前はすべてのオランダ語版オペレーティング システムで使用することができます。カスタム フィールドの名前を一般的なオランダ語とベルギーで使われているオランダ語の両方に翻訳すると、クライアントはその名前を次のように扱います。

- ◆ ロケールがオランダのオランダ語([nl-NL] エントリ)に設定されているオペレーティング システム上で実行されているクライアントのユーザーには、一般的なオランダ語に翻訳されたものが表示されます。列挙名がオランダ語に翻訳されていない場合、これらのユーザーにはその値のデフォルト名が表示されます。
- ◆ ロケールがベルギーのオランダ語に設定されているオペレーティング システム上で実行されているクライアントのユーザーには、ベルギーのオランダ語に翻訳されたものが表示されます。

列挙名がベルギーのオランダ語に翻訳されていない場合、これらのユーザーにはその値の一般的なオランダ語名が表示されます。名前がベルギーのオランダ語にも一般的なオランダ語にも翻訳されていない場合、その値のデフォルト名が表示されます。

そのため、一般的なオランダ語の翻訳に概して満足しているが、ベルギーのオランダ語では 1 つの値に限って異なる綴りや異なる言葉を使用したいという場合には、その値の名前をベルギーのオランダ語に翻訳することができます。

注: Java VM は、起動時に、クライアントのオペレーティング システムのためのロケール情報設定を読み込みます。この設定を変更する場合は、Java VM を再起動しなければなりません。

ヒント: 一般に、組織は、すべてのカスタム フィールドのデフォルト値を、1 つの言語で標準化しています。そうでない場合、アプリケーションによって、すべてのカスタム フィールドに対して、さまざまなデフォルト言語を使用することができます。たとえば、英語名を使用してカスタム フィールドを作成すると、英語名がそのフィールドのデフォルトになります。他の誰かが日本語名を使用してカスタム フィールドを作成すれば、後でそれを変更するまでは、そのフィールドのデフォルト名は日本語になります。

関連手順

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

手順

ここでは、StarTeam の利用と管理に関連するすべてのタスクについて説明します。

このセクションの内容

[代替プロパティエディタ\(APE\)でクライアントをカスタマイズする](#)

代替プロパティエディタの使用に関連するタスクについて説明します。

代替プロパティエディタ(APE)でクライアントをカスタマイズする

代替プロパティエディタの使用に関連するタスクについて説明します。

このセクションの内容

[StarTeam Layout Designer を起動して、フォームを開く](#)

Layout Designer の起動方法およびフォームの作成、オープン、インポートを行う方法について説明します。

[\[詳細\] ペインのカスタマイズ](#)

Cross-Platform Client の詳細(下部)ペインで表示するフィールドをカスタマイズする方法を説明します。

[Notification Agent が使用する HTTP サーバーのポート番号を変更する](#)

HTTP サーバーのデフォルトのポート番号を変更する方法について説明します。

[カスタム プロパティ フィールドを表示する](#)

プロパティ ダイアログと上部ペインで、カスタマイズしたプロパティ フィールドを、アイテムに対して表示する方法について説明します。

[コントロールのタブ順序を変更する](#)

フォームに配置されているコントロールのタブ順序を変更する方法を説明します。

[ステータス通知受信者リストとメッセージを作成する](#)

電子メール通知リストと電子メール メッセージのセットアップの方法について説明します。

[タブを編集する](#)

タブを追加または削除する方法、およびタブのキャプションを変更する方法について説明します。

[テキスト フィールドを設定する](#)

独自のテキスト フィールドを作成する方法について説明します。

[フォームのプロパティを編集する](#)

Layout Designer でフォームのプロパティを編集する方法について説明します。

[フォームをアクティブにする](#)

Cross-Platform Client でカスタム フォームをアクティブにする方法について説明します。

[プロパティ コントロールのインスタンスを作成する](#)

Layout Designer のフォーム レイアウト領域に標準プロパティ コントロールを作成する方法について説明します。

[プロパティ フィールドを新規作成する](#)

プロパティ フィールドを新規作成する方法について説明します。

[ユーザー ID フィールドを設定する](#)

カスタム ユーザー ID フィールドを新規作成する方法について説明します。

[ワークフロー ファイルにおいて、リンクの条件をテキストで表示する](#)

リンクの条件をテキストとして表示する方法について説明します。

[ワークフロー ファイル内でステップを条件付きでリンクする](#)

ワークフロー内でステップを条件付きでリンクする方法について説明します。

[ワークフロー ファイル内でステップを自動的にリンクする](#)

ワークフロー ファイル内でステップを自動的にリンクする方法について説明します。

[ワークフロー ファイル内のステップを手動でリンクする](#)

ワークフロー ファイル内のステップを手動でリンクする方法について説明します。

[ワークフロー ファイル内のデフォルト リンク配色を変更する](#)

デフォルト リンク配色を変更する方法について説明します。

[ワークフロー ファイル内のリンクを再配置する](#)

リンクを再配置する各種手法について説明します。

[ワークフロー ファイル内の時刻指定のステップを作成する](#)

ワークフロー ファイル内の時刻指定のステップを作成する方法を説明します。

[代替プロパティ エディタを使用するためにプロジェクトを構成する](#)

代替プロパティ エディタ(APE: Alternate Property Editor)を使用するためにプロジェクトを構成する方法について説明します。

[列挙型フィールドを設定する](#)

カスタムの列挙型フィールドを作成する方法について説明します。

[列挙型プロパティを作成する](#)

カスタムの列挙型フィールドを作成する方法について説明します。

[新しいフォームを保存する](#)

Layout Designer でデザインしたフォームをどこに保存するのかを説明します。

[日付/時刻フィールドを設定する](#)

カスタムの日付または時刻フィールドを作成する方法について説明します。

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

カスタム フィールドで表示名と列挙値を関連付ける方法について説明します。

[複合コントロールを作成する](#)

Layout Designer のフォーム レイアウト領域に複合コントロールを作成する方法について説明します。

[非プロパティコントロールのインスタンスを作成する](#)

Layout Designer のフォーム レイアウト領域に標準の非プロパティ コントロールを作成する方法について説明します。

StarTeam Layout Designer を起動して、フォームを開く

StarTeam Layout Designer はデフォルトで、Windows の [スタート] メニューの [StarTeam] グループにインストールされます。StarTeam Layout Designer を起動するには、[スタート](#) ▶ [プログラム](#) ▶ [StarTeam](#) ▶ [StarTeam Layout Designer](#) ▶ [StarTeam Layout Designer](#) を選択します。StarTeam Layout Designer を起動すると、最初は空のウィンドウが開かれ、[ファイル](#) および [ヘルプ](#) のメニューが使用可能になります。以下のいずれかの手順を実行すると、Layout Designer にはフォームをデザインするための領域と、コントロールを作成するためのツールが表示されます。

StarTeam Layout Designer の機能を使用する前に、以下のことが必要となります。

- ◆ 新しいフォームの作成
- ◆ 既存プロジェクトのオープン
- ◆ エクスポート済みのフォームをインポート

フォームを新規作成するには:

- 1 メニューから [ファイル](#) ▶ [新規作成](#) を選択します。[新規テンプレート](#) ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 フォームの保存先となるサーバーを選択し、必要ならログインして、[新規作成](#) をクリックします。[レイアウト タイプの選択](#) ダイアログ ボックスが開きます。
- 3 レイアウト タイプをドロップダウン リストから選択して、[OK](#) をクリックします。

既存のフォームを開くには:

- 1 メニューから [ファイル](#) ▶ [開く...](#) を選択します。[テンプレートを開く](#) ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 フォームが存在するサーバーを選択し、必要ならログインします。
- 3 目的のファイルを見つけて選択し、[対応開始](#) をクリックします。StarTeam Layout Designer は拡張子 *.layout.xml のファイルを開きます。

エクスポート済みのフォームをインポートするには:

- 1 メニューから [ファイル](#) ▶ [インポート...](#) を選択します。[レイアウト テンプレートのインポート](#) ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 目的のファイルを見つけて選択し、インポートをクリックします。

ヒント: 作業途中でサーバーに保存する準備が整っていないフォームについては、メニューから [ファイル](#) ▶ [エクスポート...](#) のコマンドを使用して、指定する場所に保存することができます。保存したファイルに対して再び作業を行う場合には、メニューの [ファイル](#) ▶ [インポート...](#) コマンドを使用して、データを StarTeam Layout Designer にインポートします。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

[詳細] ペインのカスタマイズ

starteam-servers.xml と starteam-client-options.xml ファイルと同じフォルダに正確な名前とフォーマットの HTML テンプレートを配置することで、ワークステーション単位で Cross-Platform Client の **詳細**(下部)ペインの表示フォーマットと内容を変更できます。たとえば、Windows システムでは、これらのファイルは <ドライブ>:\Documents and Settings<ユーザー名>\Application Data\Borland\StarTeam フォルダにあります。

サンプルの **詳細** ペイン テンプレートは、Cross-Platform Client のルート インストール フォルダ以下の、samples\details-templates フォルダにインストールされます。

テンプレート ファイルの名前により、変更対象の StarTeam コンポーネントを決定します。たとえば、changerequest.details.html という名前のテンプレートは、変更要求コンポーネントに対する **詳細** ペインの表示フォーマットと内容を制御します。

ワークステーションで [詳細] ペインをカスタマイズするには:

- 1 カスタマイズする対象のコンポーネント用の HTML テンプレート ファイルを作成します。たとえば、変更要求に対する **詳細** ペインの内容をフォーマットする場合は、changerequest.details.html という名前のテンプレート ファイルを作成します。

カスタマイズするコンポーネントの [詳細] ペインに対して次のファイル名を使用する必要があります。

- ◆ folder.details.html
- ◆ file.details.html
- ◆ changerequest.details.html
- ◆ task.details.html
- ◆ topic.details.html
- ◆ requirement.details.html
- ◆ changepackage.details.html

ヒント: **詳細** ペインをカスタマイズするために独自のテンプレートを作成する雛形として使用できるサンプル テンプレート ファイルを確認するには、このトピックの最後にあるリンクを参照してください。

- 2 必要な修正をテンプレート ファイルに行います。

形式については、サンプル テンプレート ファイルにある例を参考にしてください。**詳細** ペインの HTML テンプレートで使用されるフィールドは、ダブルチルダ `~~` 文字で囲まれているときにはクライアントで認識できます。たとえば、`~~Status~~` は、**変更要求プロパティ** ダイアログ ボックスにあるステータス フィールドを表します。

- 3 starteam-servers.xml および starteam-client-options.xml ファイルのあるディレクトリにテンプレート ファイルを保存します。たとえば、Windows システムでは、これらのファイルは <ドライブ>:\Documents and Settings<ユーザー名>\Application Data\Borland\StarTeam フォルダにあります。

Notification Agent が使用する HTTP サーバーのポート番号を変更する

HTTP サーバーのデフォルトのポート番号は 9000 ですが、これは必要に応じて変更できます。たとえば、1 台のコンピュータ上で複数の HTTP サーバーを実行するには、別々のポートが必要です。

HTTP サーバーのポート番号を変更するには:

- 1 Notification Agent を停止します。
- 2 各 TomCat HTTP サーバーには `server.xml` ファイルがあります。
- 3 メモ帳またはその他のテキスト エディタで `server.xml` を開きます。
- 4 次の `<Connector>` ステートメントを探します。`<Connector className="org.apache.catalina.connector.http.HttpConnector" port="9000" minProcessors="5" maxProcessors="75" enableLookups="true" redirectPort="8443" acceptCount="10" debug="0" connectionTimeout="60000" />`
- 5 ポート番号を適切な番号に変更して、変更済みファイルを保存します。たとえば、`port="9999"` のように変更します。
- 6 Notification Agent Setup を起動します。
- 7 目的とする構成を開きます。
- 8 [Server address] テキストボックスにコンピュータの名前を入力し、[Port] に正しいポート番号を入力します。たとえば、コンピュータの名前が `orion` である場合、`orion:9999` のように使用されます。
- 9 この構成を保存し、Notification Agent を再起動するか、その **Refresh** ボタンをクリックします。Notification Agent は、新しいポート番号を使用します。

カスタム プロパティ フィールドを表示する

特定のタイプのアイテムに対して作成された、すべてのカスタム プロパティ フィールドのリストを見ることができたら便利です。また、カスタム プロパティ フィールドを作成した場合、選択してプロジェクト ビュー ウィンドウの上側のペインに表示したい場合もあるでしょう。

プロパティ ダイアログでアイテムのカスタム プロパティ フィールドを表示するには:

- 1 フォルダの階層からフォルダを選択します。
- 2 コンポーネントタブを選択します。これで、上側のペインにアイテムが表示されます。
- 3 上のペインでアイテムを強調表示し、コンポーネント メニューまたはコンテキスト メニューから **プロパティ...** を選択します。プロパティ ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 **カスタム** タブをクリックすると、選択したアイテムに対して作成されているカスタム フィールドが表示されます。
- 5 OK をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

上側のペインにカスタム プロパティ フィールドを表示するには:

- 1 フォルダの階層からフォルダを選択します。
- 2 コンポーネントタブを選択します。これで、上側のペインにアイテムが表示されます。
- 3 コンポーネント メニューまたはコンテキスト メニューから **フィルタ ▶ フィールドの表示...** を選択します。フィールドの表示 ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 **利用可能なフィールド** リストから表示したいフィールドを選択し、**追加** をクリックします。
- 5 **以下のフィールドをこの順序で表示** リストでフィールド名をドラッグ & ドロップして、フィールドを並べ替えます。
- 6 完了したら OK をクリックします。選択したフィールドが上側のペインに表示されます。

注: 上側のペインに一度に表示できる列数は 60 に制限されています。カスタム フィールドを追加した結果、フィールド数が 60 を超えた場合、アイテムのすべてのフィールドを列として上側のペインに表示することはできません。データベースにも制限があり、作成できるカスタム フィールドの数が制限されることに留意してください。

関連概念

[ユーザー定義プロパティフィールド](#)

関連手順

[プロパティフィールドを新規作成する](#)

[日付/時刻フィールドを設定する](#)

[列挙型フィールドを設定する](#)

[テキストフィールドを設定する](#)

[ユーザー ID フィールドを設定する](#)

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

[列挙型プロパティを作成する](#)

コントロールのタブ順序を変更する

タブ順序は、ユーザーが Tab キーを押すたびに挿入ポイントがどのような順序でコントロール間を移動するかを決定するものです。コントロールのタブ順序は、デフォルトでは、フォームにコントロールを追加した順序と一致します。

タブ順序を変更するには:

- 1 Layout Designer ウィンドウ上部にある編集ツールバーで、[タブの順序] ボタンをクリックすると、**タブ順序** ビューが表示されます。このボタンで、タブ順序ビューの表示/非表示が切り替えられます。タブ順序はフォーム レイアウト領域で、各コントロール上に重なって表示されます。
- 2 CTRL キーを押しながらコントロールのタブ順序ボックスをクリックすると、そのコントロールがタブ順序の先頭になります。初期状態では、コントロール上に数値の 1 が重なって表示されます。
- 3 各コントロールを順にクリックして、通し番号を割り当てていきます。

ヒント: 手順 2 と 3 を実行する代わりに、コントロールのフォーム コントロール領域でタブ順序ボックスをクリックすることもできます。繰り返しクリックすると数字が周期的に変化し、フォームに存在する他のすべてのコントロールの数字がそれに合わせて調整されます。

- 4 **タブの順序** ボタンをクリックして、[タブの順序] ビューを終了します。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

ステータス通知受信者リストとメッセージを作成する

ステータス通知メッセージは、本来、情報提供を目的としたものであり、受信者は通常、そのステップの [Participants] タブにリストされている以外のチーム メンバです。たとえば、顧客サポートの監督者ならば、変更要求がエスカレーション ステップに到達したことを知っておく必要があります。Notification Agent は、1 つのメッセージを、ステータス通知リストにあるすべてのユーザーに同時に送信します。

ステータス通知リストとメッセージを作成するには:

- 1 ワークスペースで、既存のステップをダブルクリックします。
- 2 **Edit Step** ダイアログ ボックスの **Status Notification** タブをクリックします。
- 3 任意の数の個々のユーザー、ユーザー グループ、および参照を [Status notification list] に追加します。
- 4 デフォルトのステータス通知メッセージの件名行を使用しない場合は、電子メール通知メッセージの [Subject](件名) を入力します。ステータス通知メッセージにデフォルトの件名行を持つメッセージを送信するには、[Subject] テキストボックスを空白にしておきます。
- 5 デフォルトのステータス通知メッセージの本文を使用しない場合は、通知メッセージの [Body](本文) をプレーン テキストまたは HTML 形式で指定します。対応する **Insert Reference** ボタンを使用して、特定のアイテム プロパティ フィールドの現在の値を件名行やメッセージ本文に追加できます。
- 6 **Preview HTML** をクリックすると、メッセージの本文がブラウザ ウィンドウでどう表示されるかがわかります。
- 7 **OK** ボタンまたは別のタブをクリックします。

すべてのユーザーを例外通知リストに同時に追加するには:

- 1 **All Users** ボタンをクリックしてすべてのユーザーをリストに追加します。
- 2 これを行うと、[Status notification list] にある現在のエントリが空になってしまうので、この決定を確認するため、**Yes** をクリックします。[Everyone] という語が [Status notification list] に表示されます。個々のユーザー、グループ、または参照を追加する必要はありません。

1 人または複数のユーザーを追加するには:

- 1 [Status notification list] の横の **Add Users** ボタンをクリックして、ユーザーをリストに追加します。
- 2 **Select Status Users** ダイアログ ボックスから 1 人または複数のユーザーを選択します。
- 3 **OK** をクリックすると **Status Notification** タブに戻ります。選択したユーザーが [Status notification list] に表示されません。

1 つまたは複数のユーザー グループを追加するには:

- 1 **Add Groups** ボタンをクリックしてグループをリストに追加します。
- 2 **Select Status Groups** ダイアログ ボックスから 1 つまたは複数のグループを選択します。
- 3 **OK** をクリックすると **Status Notification** タブに戻ります。選択したグループが [Status notification list] に表示されません。

1 つまたは複数の参照を追加するには:

- 1 **Add References** ボタンをクリックしてユーザーをリストに追加します。
- 2 **Select Referenced Fields** ダイアログ ボックスから 1 つまたは複数のユーザー ID フィールドを選択します。

- 3 OK をクリックすると **Status Notification** タブに戻ります。参照されるユーザー ID フィールドが [Status notification list] に表示されます。

ヒント: **Remove** ボタンを使用して、リストからユーザー、グループまたは参照を削除します。

特定のアイテム プロパティ フィールドの現在の値を件名行やメッセージ本文に追加するには:

- 1 **Insert Reference** をクリックします。
- 2 その結果表示される **Select a Reference** ダイアログ ボックスから、1 つまたは複数のプロパティ フィールド名を選択します。
- 3 **OK** をクリックすると Status Notification タブに戻ります。

選択した各プロパティ フィールドへの参照が、[Subject](件名行)または [Body](メッセージ本文)に表示されます。たとえば、[Entered By](提出者)フィールドを選択した場合、参照トークン `{{property name="EnteredBy"}}` が表示されます (**EnteredBy** は、[Entered By] プロパティの内部名です)。メッセージを送信するときに、トークンはアイテムを入力したチーム メンバの名前に置き換えられます。

タブを編集する

デフォルトでは、*Page 1* というラベルのタブだけを備えたフォームが Layout Designer で作成されます。プロパティシートの編集 ダイアログ ボックスでは、タブ テキストの変更、フォームへのタブの追加、およびタブの順序変更を行うことができます。

Layout Designer の画面上部にある編集ツールバーの [編集タブ] ボタンを使用すると、タブを編集することができます。ここでは以下のことが実行可能です。

- ◆ タブの追加
- ◆ タブの削除
- ◆ タブの順序変更
- ◆ タブのキャプション追加または変更

注: 1 つのタブに同じプロパティのコントロールが複数存在することはできません --- そのような場合には、最初のコントロールだけが使用されます。また、特定のコントロール(プロパティ リスト、添付ファイル、ユーザー リスト)を同じタブに複数配置することはできません。これらのコントロールの属性は、現在、「ユーザー リスト」を除いてすべて無視されます。

タブを追加するには:

- 1 編集ツールバーの [編集タブ] ボタンをクリックします。プロパティシートの編集 ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 タブのキャプション テキストを **タイトル** フィールドに入力します。
- 3 **追加** をクリックします。手順 2 で指定したキャプション付きの新しいタブがダイアログに表示されます。
- 4 さらにタブを追加する場合には、ダイアログを開いたまま、手順 2 と 3 を繰り返します。
- 5 タブの追加が完了したら、**OK** をクリックします。

ヒント: サンプル領域に収まらないほど多くのタブを作成すると、プロパティシートの編集 ダイアログ ボックスの右側にある矢印ボタンがアクティブになり、先頭、前、次、および最後のタブにそれぞれ移動できるようになります。

タブを削除するには:

- 1 編集ツールバーの [編集タブ] ボタンをクリックします。プロパティシートの編集 ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 ダイアログ ボックスのサンプル領域にあるタブをクリックして、削除したいタブを選択します。タブを選択すると、**タイトル** フィールドにそのタブのキャプションが表示されます。
- 3 **削除** をクリックします。
- 4 タブの削除が完了したら、**OK** をクリックします。

タブの順序を変更するには:

- 1 編集ツールバーの [編集タブ] ボタンをクリックします。プロパティシートの編集 ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 ダイアログ ボックスのサンプル領域にあるタブをクリックして、順序を変更したいタブを選択します。タブを選択すると、**タイトル** フィールドにそのタブのキャプションが表示されます。
- 3 サンプル領域の左側にある矢印ボタンをクリックして、選択したタブの順序を変更します。
- 4 タブの順序変更が完了したら、**OK** をクリックします。

タブのキャプションを変更するには:

- 1 編集ツールバーの [編集タブ] ボタンをクリックします。プロパティシートの編集 ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 ダイアログ ボックスのサンプル領域にあるタブをクリックして、キャプションを変更したいタブを選択します。タブを選択すると、タイトル フィールドにそのタブのキャプションが表示されます。
- 3 タイトル フィールドを編集して、変更を適用させるために OK をクリックします。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

テキスト フィールドを設定する

テキスト フィールドには、それぞれ異なるデータが入ることが多いため、デフォルト値を設定することができません。
この手順は、「プロパティ フィールドを新規作成する」に続くものです。

カスタム テキスト フィールドを新規作成するには:

- 1 **フィールドの追加** ダイアログ ボックスで **タイプ** リスト ボックスから **テキスト** を選択します。
- 2 **長さ** テキスト ボックスには、デフォルトの最大長(255 文字)をそのまま使用することもできますが、2 ~ 20,000 までの文字数を指定することも可能です。
- 3 ダイアログ ボックスを閉じた後は、数値を変更することができないので、事前に **長さ** の値が適切であるかどうかを確認してください。
- 4 このフィールドを入力必須フィールドにしたい場合は、**入力必須** チェック ボックスをオンにします。必須フィールドは **ファイル** プロパティ ダイアログ ボックス以外に影響を与えないため、ファイルのプロパティに使用されることはほとんどありません。

関連手順

[プロパティフィールドを新規作成する](#)

[日付/時刻フィールドを設定する](#)

[列挙型フィールドを設定する](#)

[ユーザー ID フィールドを設定する](#)

[カスタム プロパティ フィールドを表示する](#)

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

[列挙型プロパティを作成する](#)

フォームのプロパティを編集する

フォームのプロパティは Layout Designer の左下部分にあるプロパティ ペインに表示されます。

フォームのプロパティを編集するには:

- 1 フォーム レイアウト領域でコンポーネントを選択します。
- 2 プロパティ ペインを使って、Name、Caption、Info-Tip の値を編集します。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

フォームをアクティブにする

StarFlow Extensions project のしかるべきプロジェクト ディレクトリにフォームを保存したら、以下の手順に従ってフォームをアクティブにし、Cross-Platform Client で使用できるようにします。

注: プロジェクトのプロパティ ダイアログ ボックスで代替プロパティ エディタ(APE: Alternate Property Editors)を使用している場合、カスタマイズした Layout Designer フォームを無効にする必要があります。

Layout Designer フォームをアクティブにするには:

- 1 Cross-Platform Client を起動し、フォームが使用されているプロジェクトまたはビューにアクセスします。
- 2 上部ペインで対象のアイテムのタブを選択します。たとえば、Layout Designer で変更要求フォームを変更したとき、**変更要求** タブを選択します。
- 3 **<アイテム タイプ>** ▶ **プロパティ** を選択し、変更されたプロパティ ダイアログを開きます。<アイテム タイプ>は、変更要求など、変更されたフォームの名称になります。

プロパティ ダイアログが表示されます。Layout Designer でフォームを再び開くことにより、フォームに修正を加えることができます。

Layout Designer でカスタム フォームを利用する場合、APE を無効にする必要があります。Layout Designer はあらかじめ設定された StarTeam ワークフローを利用する設計になっています。Layout Designer フォームを変更する際には、APE とカスタム ワークフローを使うことはできません。

プロジェクトで APE の使用を中止するには:

- 1 Cross-Platform Client を開きます。
- 2 メニューから **プロジェクト** ▶ **プロパティ** を選択します。**プロジェクトのプロパティ** ダイアログが表示されます。
- 3 **エディタ** タブを選択し、使用しない APE のチェック ボックスをオフにします。たとえば、変更要求に対して Layout Designer のカスタム フォームを使いたい場合、**変更要求に代替プロパティ エディタを使用する** チェック ボックスをオフにします。
- 4 OK をクリックしてダイアログを閉じ、変更を保存します。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連手順

[StarTeam Layout Designer を起動して、フォームを開く](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

プロパティコントロールのインスタンスを作成する

プロパティコントロールはフォームにアイテム プロパティを表示するためのものです。プロパティコントロールはアイテムの1つのプロパティに直接リンクした単一コントロールで、そこにはそのプロパティの現在値が表示され、さらに、設定によってはそのプロパティの新しい値をユーザーが選択することもできます。1つのプロパティは、別々のタブに表示される限り、フォーム内で何度でも表示させることができます。ただし、フォーム内の個々のタブでは、1つのプロパティを最大1度しか表示させることができません。

ツール パレットから次のプロパティコントロールを作成することができます。

- ◆ デフォルト プロパティコントロールの作成
- ◆ カスタマイズ プロパティコントロールの作成
- ◆ スタティック テキスト プロパティコントロールの作成
- ◆ ラジオ セット プロパティコントロールの作成
- ◆ チェック ボックス プロパティコントロールの作成
- ◆ テキスト フィールド、テキスト領域、コンボ ボックス、リスト プロパティコントロールの作成
- ◆ 時間プロパティコントロールの作成
- ◆ 参照ボタン プロパティコントロールの作成
- ◆ 実行コマンド ボタン プロパティコントロールの作成

デフォルト プロパティコントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 コントロール ペインで、**プロパティ タブ**をクリックします。現在のアイテム タイプで利用可能な全プロパティのリストが**プロパティ タブ**に表示されます。
- 2 フォームに表示するプロパティを選択し、フォームまでドラッグして適切な場所にドロップします。そのプロパティのデフォルト コントロールがフォームに表示されます。

カスタマイズ プロパティコントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットで、適切なボタンをクリックします。マウス ポインタをフォーム レイアウト領域に移動すると、ポインタが十字形に変わります。
- 2 フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグして、選択したコントロールのインスタンスをフォームに作成します。ダイアログ ボックスが開き、そのコントロールに関連付けるアイテム プロパティが選択可能になります。
- 3 そのコントロールで表示するプロパティを選択し、コントロール固有の情報があればそれを入力したあと、**OK** をクリックします。

注: ツール パレットのボタンはフォームに追加可能な単一コントロールのプロパティを表します。

各コントロールに固有の情報については、以下に示す、利用可能なプロパティコントロールの一覧を参照してください。

スタティック テキスト プロパティコントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットのスタティック テキスト コントロールをクリックします。続いて、フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。**コントロールの新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 そのコントロールで表示するプロパティを選択し、**キャプションのみ表示** チェック ボックスをオフにしたままにします。
- 3 **OK** をクリックします。

ラジオ セット プロパティ コントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットのラジオ セット コントロールをクリックします。続いて、フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。**コントロールの新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 そのコントロールで表示するプロパティを選択し、OK をクリックします。**ラジオ コントロールの追加** ダイアログ ボックスが開きます。
- 3 ラジオ セット コントロールには、ボタンを少なくとも 2 つ作成する必要があります。ラジオ セット中にラジオ コントロールを作成するには:
 - 1 ボタンのキャプション テキストを入力します。
 - 2 コントロールが選択されたときにプロパティに設定される値を選択します。
 - 3 **次へ** をクリックして別のボタンを作成し、以降同じ操作を繰り返します。
 - 4 必要なボタンをすべて作成したら、**完了** をクリックします。

注: いったんラジオ セットを作成し、表示テキストをラジオ コントロールに関連付けると、Layout Designer では、表示テキストも関連付けられた値も編集することはできません。変更したい場合は、作成したコントロールを削除して新しいコントロールを作成してください。

チェック ボックス プロパティ コントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットのチェック ボックス コントロールをクリックします。続いて、フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。**コントロールの新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 そのコントロールで表示するプロパティを選択し、OK をクリックします。**状態値の選択** ダイアログ ボックスが開きます。
- 3 チェック ボックスがチェックされた状態とチェックされていない状態にあるときの値を選択し、OK をクリックします。

注: いったんチェック ボックスを作成し、チェックされた状態とチェックされていない状態にあるときのプロパティ値を指定すると、StarTeam Layout Designer では、関連付けられたそれらの値を編集することはできません。変更したい場合は、作成したコントロールを削除して新しいコントロールを作成してください。

テキスト フィールド、テキスト領域、コンボ ボックス、リスト プロパティ コントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットで以下のいずれかのボタンをクリックします。
 - ◆ テキスト フィールド コントロール
 - ◆ テキスト領域コントロール
 - ◆ コンボ ボックス コントロール
 - ◆ リスト コントロール
- 2 レイアウト領域をクリックし、フォーム上をドラッグしてコントロールを描画します。**コントロールの新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 3 そのコントロールで表示するプロパティを選択し、OK をクリックします。

ヒント: 関連するラベル コントロールのインスタンスを当該フィールドの説明用に作成し、アクセス キーのターゲットを指定します。ラベル コントロールはツール パレットのラベル コントロール ボタンを使っても作成することができます。

時間プロパティコントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツールパレットの時間コントロールをクリックします。続いて、フォームレイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。コントロールの新規作成ダイアログボックスが開きます。
- 2 そのコントロールで表示するプロパティを選択し、OKをクリックします。

参照ボタンプロパティコントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 テキストフィールドコントロールを作成し、そのコントロールで表示するプロパティを選択します。これは、参照ボタンに関連付けるプロパティと同じもの(ファイルパスまたはフォルダパス)です。
- 2 ツールパレットのボタンコントロールをクリックします。続いて、フォームレイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。コントロールの新規作成ダイアログボックスが開きます。
- 3 ボタンのタイプ(ファイル参照ボタンまたはフォルダ参照ボタンのいずれか)と、手順1で作成したテキストコントロールで表示するプロパティを選択し、OKをクリックします。

実行コマンドボタンプロパティコントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 必要であれば実行可能ファイルを作成し、それを StarTeam アイテムプロパティに関連付けます。
- 2 ツールパレットのボタンコントロールをクリックします。続いて、フォームレイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。コントロールの新規作成ダイアログボックスが開きます。
- 3 コントロールのタイプとして **実行コマンドボタン** を選択し、上記の実行可能ファイルのコマンド名を値とするプロパティを選択したあと、OKをクリックします。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザーインターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連手順

[非プロパティコントロールのインスタンスを作成する](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

プロパティ フィールドを新規作成する

プロパティ フィールドは各アイテムに対して、いくつでも作成することができます。新規作成するフィールドに使用できるタイプは、日付/時刻、列挙値、整数、実数、テキスト、ユーザー ID です。

列挙値、整数、実数、および日時の各タイプにはデフォルト値がありますが、ユーザーが変更することもできます。テキストとユーザー ID のタイプにはデフォルト値がありませんが、ユーザーに入力を要求することができます。

カスタム フィールドを作成する前に、`stcmd` コマンドラインを使用して、サーバーを排他的ロックし、別のユーザーが確実にアクセスできないようにします。

プロパティ フィールドを新規作成するには:

1 以下のいずれかを選択します。

- ◆ [ファイル](#) ▶ [詳細](#) ▶ [カスタマイズ...](#)
- ◆ [変更要求](#) ▶ [詳細](#) ▶ [カスタマイズ...](#)
- ◆ [トピック](#) ▶ [詳細](#) ▶ [カスタマイズ...](#)
- ◆ [タスク](#) ▶ [詳細](#) ▶ [カスタマイズ...](#)

2 **カスタマイズ** ダイアログから、カスタマイズ可能なフィールドを見つけます。フィールドとそれに付属しているアイコンは以下のとおりです。

- ◆ フィールド(中央に鉛筆がついているアイコン)は、アプリケーション フィールドです。この種のフィールドは常に列挙型であり、完全にカスタマイズできます。ユーザーは値の追加、無効化、名前変更、および順序変更を行うことができます。
- ◆ フィールド(人の顔がついているアイコン)は、新規フィールドです。この種のフィールドは、上記で挙げたタイプのいずれかであり、完全にカスタマイズすることができます。新しいフィールドを無効にすると、アイコンは灰色に変わります。
- ◆ アプリケーション フィールド(左下隅に黄色の鍵のついたアイコン)は、制限された列挙型です。この種のフィールドについては、値の表示名しか変更できません。

通常、この種のフィールドは、変更できないワークフロー特性を備えています。

3 **追加...** をクリックします。フィールドの追加 ダイアログ ボックスが表示されます。

4 **フィールド名** テキスト ボックスに、データベースで使用する新規フィールドの名前を入力します。この名前には英数字のみを使用し、スペースは入れないでください。

フィールド名には(Usr_を含めて)31 字未満の ASCII 文字が使用できます。なお、サポートするデータベースが使用できない次の文字を含めることはできません:

```
= ¥¥. ^$@, ; ! : # * & < > ? - / % | [ ] ( ) + "
```

いったん **OK** をクリックすると、フィールド名を再び変更することができないため、フィールド名の選定には注意を要します。

5 **表示名** テキスト ボックスに、ユーザーに対して表示するラベルを入力します。

6 **タイプ** リスト ボックスからタイプを選択し、そのタイプに必要な手順に従います。

関連概念

[ユーザー定義プロパティフィールド](#)

関連手順

[日付/時刻フィールドを設定する](#)

[列挙型フィールドを設定する](#)

[テキストフィールドを設定する](#)

[ユーザー ID フィールドを設定する](#)

ユーザー ID フィールドを設定する

ユーザー ID が削除されるとデフォルト値も無効になってしまうため、[ユーザー ID] フィールドにはデフォルト値は設定できません。

この手順は、「プロパティ フィールドの新規作成」に続くものです。

カスタム ユーザー ID フィールドを新規作成するには:

- 1 フィールドの追加 ダイアログ ボックスで **タイプ** リスト ボックスから **ユーザー ID** を選択します。
- 2 このフィールドを必須フィールドにするには、**入力必須** チェック ボックスをオンにします。必須フィールドは **ファイル** プロパティ ダイアログ ボックス以外に影響を与えないため、ファイルのプロパティに使用されることはほとんどありません。
- 3 **OK** をクリックします。

関連手順

[プロパティ フィールドを新規作成する](#)

[日付/時刻フィールドを設定する](#)

[列挙型フィールドを設定する](#)

[テキスト フィールドを設定する](#)

[カスタム プロパティ フィールドを表示する](#)

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

[列挙型プロパティを作成する](#)

ワークフロー ファイルにおいて、リンクの条件をテキストで表示する

リンクの条件は、ワークスペースにおいてテキストとして表示させることもできます。ワークスペース内にテキストで表示させない場合、それは、リンク上にマウス ポインタを持っていった際にチップとして表示されます。ワークフローを開いた際には、常にリンクのテキストはオフの状態になっています。ユーザーは、表示をオンの状態にするか、ツールチップを使用しなければなりません。

ワークスペースに条件を表示/非表示にするには:

- 1 **Edit Link Options Display Link Text** を選択します。
- 2 設定を切り替えるには、同じコマンドを使用してください。

ワークフロー ファイル内でステップを条件付きでリンクする

リンクが、あるステップ(または、列挙値)から他のステップへの遷移が有効であることを示すのは、ワークフロー制御プロパティではなくアイテム プロパティに特定の値がある場合のみです。ワークフローでこれを表示するには、2 つのステップを条件付きリンクで接続します。条件付きリンクは、ステップを指す点線の矢印で示され、条件が当てはまる場合のみ使用できます。

条件を指定する場合、プロパティと 1 つ以上の値を選択します。各値に対して、プロパティがその値に設定されたアイテム(条件に当てはまるアイテム)の適切な遷移先となるステップを 1 つ以上選択します。

ステップを条件付きでリンクするには:

- 1 ワークスペースで、既存のステップをダブルクリックします。
- 2 **Edit Step** ダイアログ ボックスの **Next Steps** タブをクリックします。
- 3 [Property] リストから、条件を作成するプロパティ(たとえば、[Type] プロパティ)を選択します。
- 4 **Add Value** をクリックします。
- 5 [Value] リストから条件の値(たとえば、[Suggestion])を選択し、**OK** をクリックします。[Next Steps] タブの [Values] リストに値が表示されて、選択されます。または、[Value of property] リストからプロパティを選択し、条件がそのプロパティの値に依存するようにします。
- 6 **OK** をクリックします。
- 7 **Add Steps** をクリックします。
- 8 **Select Next Steps** ダイアログ ボックスで、次のステップを 1 つ以上選択し、**OK** をクリックします。
- 9 <otherwise> を選択し、条件が存在しない場合、または条件が満たされない場合に、アイテムがリンクされるワークフロー ステップ(すなわち、ユーザーが遷移できるワークフロー制御プロパティの値)を指定して、**OK** をクリックします。

必要な場合、指定した条件プロパティの値と、条件プロパティがそれらの値である場合に遷移できるステップを追加で選択します。

ヒント: 必要に応じて、**Edit Value**、**Remove Value**、および **Remove Steps** ボタンを使用して修正し、**OK** をクリックして **Edit Step** ダイアログ ボックスを閉じます。

ワークフロー ファイル内でステップを自動的にリンクする

ステップを選択してから、**Edit Step** ダイアログ ボックスの **Next Steps** タブを使用すると、そのステップから他のすべてのステップへのリンクを自動的に作成できます。接続されているステップが表示されていない場合、この手続きによってそれも表示されます。

ステップを自動的にリンクするには:

- 1 新しいステップへのリンクを作成する既存のステップを選択して、ダブルクリックします。
- 2 **Edit Step** ダイアログ ボックスの **Next Steps** タブをクリックします。
- 3 [Conditions] 列で <otherwise> を選択し、このステップへのリンクに条件がないことを指定します。
- 4 **Add Steps** をクリックします。
- 5 **Select Next Steps** ダイアログ ボックスの値リストから、遷移するステップを選択します。
- 6 **OK** をクリックします。

ヒント: 選択したステップのいくつかを削除するには、不要なステップを選択し、**Remove Steps** をクリックします。

ワークフロー ファイル内のステップを手動でリンクする

あるステップから他のステップに手動でリンクを追加すると、自動的に遷移元のステップの **Edit Step** ダイアログ ボックスの **Next Steps** タブの情報に影響を与えます。遷移先のステップの名前が、<otherwise> 値のステップのリストに追加されます。<otherwise> 値には、条件が存在しない場合、またはどの条件も満たされない場合に、アイテムがリンクされるステップを指定します（つまり、アイテムが遷移できる値）。

あるステップから他のステップにリンクを手動で作成するには：

- 1 あるステップの境界から次のステップの境界まで、リンクをクリックしてドラッグします。
- 2 マウス ボタンを放すと、リンクが表示されます。リンクを最初のステップにドラッグすることはできません。

ステップの境界をクリックしてもできます。こうすると、選択したステップとそれに最も近いステップとを直ちにリンクします（そのステップが最初のステップではない場合）。

ワークフロー ファイル内のデフォルト リンク配色を変更する

リンクは色分けされ、無条件リンクと、条件付きリンクでは別の色になります。デフォルトでは、Workflow Designer は、無条件リンクは濃い青、条件付きリンクは青緑で表示します。条件付リンクには、点線が付きます。デフォルトの色は簡単に変更できます。デフォルトの線種は変更できません。

デフォルト リンク配色を変更するには:

- 1 メニューから **Edit Link Options Default Link Colors...** を選択します。[Select Default Conditional Link Color] ダイアログが開きます。
- 2 [Swatches] タブの色サンプルから選択するか、[RGB] タブまたは [HSB] タブで値を入力して、新しいデフォルト リンク配色を選択し、OK をクリックします。

デフォルトの条件付きリンク配色を変更するには:

- 1 メニューから **Edit Link Options Default Conditional Link Colors...** を選択します。[Select Default Conditional Link Color] ダイアログが開きます。
- 2 [Swatches] タブの色サンプルから選択するか、[RGB] タブまたは [HSB] タブで値を入力して、新しいデフォルト リンク配色を選択し、OK をクリックします。

ワークフロー ファイル内のリンクを再配置する

選択時に、各リンクには少なくとも 2 つのリンク ポイントがあります。初期の 2 つのリンク ポイントは、リンクの両方の端を指しています。

ワークスペースでリンクを再配置するには:

- 1 矢印に最も近いリンク ポイントをドラッグして、現在のステップに再配置するか、リンクが指すステップを変更します。
- 2 矢印から最も遠いリンク ポイントを、同じステップの新しい位置にドラッグします。リンクが作成される元のステップを変更することはできません。
- 3 リンク ポイントを追加し、ワークスペースの適切な位置にそれらをドラッグすることで、リンクに曲げや屈折を加えます。

リンク ポイントを追加するには:

- 1 ワークスペースの、新しいリンク ポイントを作成するリンク上の場所で右クリックします。
- 2 **Add Link Point** を選択します。

新しいリンク ポイントがリンクに表示されます。

ワークフロー ファイル内の時刻指定のステップを作成する

時刻指定のステップを作成するとき、そのステップの期間とその時間帯のベース ステップを指定します。期間のベース ステップは、期間が指定されているステップか、それより前の任意のステップです。ステップが指定した期間内に完了しない場合は、例外が発生します。

注: 組織が 24 時間年中無休で運用されているのでなければ、期間の設定が問題の原因になる場合があります。その理由は、期間の時間は、夜間、週末および休日にも継続して計算されるからです。つまり、ステップは期限切れとなつて、予定以前に例外メッセージが送信されることになります。たとえば、金曜に、ステップの期限切れまでに 24 時間以上あるとき、例外メッセージが土曜日に送信されます。

時間指定ステップを作成するには:

- 1 ワークスペースで、既存のステップをダブルクリックします。
- 2 **Edit Step** ダイアログ ボックスの **General** タブをクリックします。
- 3 **Limit step duration** チェック ボックスをオンにします。
- 4 **Duration** テキスト ボックスに整数値を入力し、その次のリストから日数(days)か、時間(hours)か、分(minutes)を選択して、ステップの期間を指定します。
- 5 [Relative to] リストから期間の基になるベース ステップを選択します。[Relative to] リストには、そのワークスペース内のすべてのステップの名前が含まれています。ワークフローで現在のステップより前のステップを選択してください。
- 6 **OK** をクリックするか、他のタブを選択します。

ステップの期間を最初から最後まで指定するには、[Relative to] に現在のステップを設定するか、空白のままにします。何もない(空白)または現在のステップからの相対期間を設定するということは、現在のステップを、プロセス内の他のステップとは別に、指定の時刻に実行する必要があるということを示します。

2 つ以上のステップにまたがるタスクの期間を指定するには、[Relative to] にタスク内の最初のステップを設定します。前のステップからの相対期間を設定するということは、期間は、たとえその間にいくつのステップがあろうとも、相対ステップの開始から現在のステップの終了までであると指定することです。

代替プロパティ エディタを使用するためにプロジェクトを構成する

デフォルトでは、すべてのプロジェクトが標準のプロパティ ダイアログを使用します。APE が使用できる場合、プロジェクト内のすべてのビューでその APE を使用するようにするため、プロジェクト プロパティを変更する必要があります。一度設定すると、プロジェクト内のすべてのビューで、標準ダイアログの代わりに 1 つの APE を使用しなければなりません。しかし、StarFlow Extensions プロジェクトの Projects フォルダにある該当するビュー固有のサブフォルダに APE をチェックインしておけば、各ビューで異なる APE を使用することもできます。

StarTeam アイテム タイプで APE を使用するには:

- 1 アプリケーションで、メニュー バーから **プロジェクト プロパティ...** を選択します。プロジェクトのプロパティ ダイアログが表示されます。
- 2 **エディタ** タブを選択します。
- 3 **[<要素> に代替プロパティ エディタを使用する]** チェック ボックスをオンにします。
- 4 その後、フォルダ名を手入力するか選択ダイアログを使って入力します。通常は、「Locator」という単語の後に APE の名前を付けたものを入力します。

警告: 新しい設定は直ちに有効になるので、進行中のプロジェクトに対して APE を設定するときには注意が必要です。多くのユーザーにエディタを公開する前に、APE に対して行われた変更をテストすることが重要です。

関連手順

[代替プロパティエディタ\(APE\)でクライアントをカスタマイズする](#)

列挙型フィールドを設定する

クエリ やその他のダイアログ ボックスのリスト ボックスに表示される列挙型の値の順序は、**フィールドの追加** または **フィールドの変更** ダイアログ ボックスに表示される順序と同じです。表示順序はダイアログ ボックスのリスト ボックスで表示された場合に限り、指定した順序やアルファベット順になります。値をドラッグ & ドロップして配置し直すこともできます。

この手順は、「プロパティ フィールドを新規作成する」に続くものです。

カスタム列挙型フィールドを新規作成するには:

- 1 **フィールドの追加** ダイアログ ボックスで **タイプ** リスト ボックスから **列挙値** を選択します。
- 2 **[追加...]** をクリックして最初の値を入力します。 **値の追加** ダイアログ ボックスが表示されます。0 から 100 までの数字コードはシステムで予約されているため、このダイアログ ボックスには 101 から始まる数字が表示されます。
- 3 表示されたコードを使用するか、**コード** テキスト ボックスに別のコードを入力します。
- 4 **名前** テキスト ボックスにこの列挙値の名前を入力します。
- 5 **OK** をクリックします。
- 6 **[指定できる値]** リスト ボックスで値をドラッグ & ドロップして並べ替えることができます。
- 7 **[デフォルト値]** リスト ボックスからデフォルト値として 1 つの列挙値を選択します。プロパティとしてこのフィールドを使用するすべての既存のアイテムで、この値が自動的に使用されます。また、新規作成したアイテムのデフォルト値としても、この値が使用されます。この値は、アイテムの **プロパティ ダイアログ** の **カスタム** タブを使用して変更することができます。
多くのユーザーがデフォルト値として、実際には値が設定されていないことを示す **<none>** という値を作成します。また、この値を列挙値リストの最初に置いて、フィールドの列がソートされたときに上側のペインの一番上か一番下に表示されるようにします。
日付や時刻を入力している場合は、現地に合った形式を使用してください。
- 8 選択したコードが目的のものであるかどうかを確認します。いったんダイアログ ボックスを終了すると、変更することはできません。
- 9 **OK** をクリックします。

関連手順

[プロパティ フィールドを新規作成する](#)

[日付/時刻フィールドを設定する](#)

[テキスト フィールドを設定する](#)

[ユーザー ID フィールドを設定する](#)

[カスタム プロパティ フィールドを表示する](#)

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

[列挙型プロパティを作成する](#)

列挙型プロパティを作成する

クエリ やその他のダイアログ ボックスのリスト ボックスに表示される列挙型の値の順序は、**フィールドの追加** または **フィールドの変更** ダイアログ ボックスに表示される順序と同じです。表示順序はダイアログ ボックスのリスト ボックスで表示された場合に限り、指定した順序やアルファベット順になります。値をドラッグ & ドロップして配置し直すこともできます。

カスタム列挙型フィールドを新規作成するには:

- 1 **フィールドの追加** ダイアログ ボックスで **タイプ** リスト ボックスから **列挙値** を選択します。
- 2 **追加...** をクリックして最初の値を入力します。**値の追加** ダイアログ ボックスが表示されます。StarTeam では、0 から 100 までの数字コードが予約されているため、このダイアログには 101 から始まる数字が表示されます。
- 3 表示されたコードを使用するか、**コード** テキスト ボックスに別のコードを入力します。
- 4 **名前** テキスト ボックスにこの列挙値の名前を入力し、**OK** をクリックします。
- 5 **指定できる値** リスト ボックスで値をドラッグ & ドロップして並べ替えることができます。
- 6 **デフォルト値** リスト ボックスからデフォルト値として 1 つの列挙値を選択します。プロパティとしてこのフィールドを使用するすべての既存のアイテムで、この値が自動的に使用されます。また、新規作成したアイテムのデフォルト値としても、この値が使用されます。この値は、アイテムの **プロパティ ダイアログ** の **カスタム** タブを使用して変更することができます。
多くのユーザーがデフォルト値として、実際には値が設定されていないことを示す **<none>** という値を作成します。また、この値を列挙値リストの最初に置いて、フィールドの列がソートされたときに上側のペインの一番上か一番下に表示されるようにします。日付や時刻を入力している場合は、現地に合った形式を使用してください。
- 7 選択したコードが目的のものであるかどうかを確認します。いったんダイアログ ボックスを終了させ、**OK** をクリックすると、変更することはできません。

関連手順

[プロパティフィールドを新規作成する](#)

[日付/時刻フィールドを設定する](#)

[列挙型フィールドを設定する](#)

[テキストフィールドを設定する](#)

[ユーザー ID フィールドを設定する](#)

[カスタム プロパティ フィールドを表示する](#)

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

新しいフォームを保存する

StarTeam Server をインストールすると、デフォルトで、自動的に「StarFlow Extensions」というプロジェクトがインストールされます。「StarFlow Extensions」プロジェクトには *Projects* というフォルダが含まれています。カスタマイズした Layout Designer のフォームはこの場所に保存しなければなりません。

Projects フォルダに保存されたフォームは、以下に示すサーバーのプロジェクトで使用されます。

- ◆ Projects フォルダにカスタム フォームを保存した場合、それは、より低いレベルのフォームが優先しない限り、サーバー上のすべてのプロジェクトで使用されます。
- ◆ Projects フォルダの下に *myproject* フォルダを作成した場合、そのフォルダ内に保存したフォームはすべて、「StarFlow Extensions」プロジェクトが含まれているサーバー上の *myproject* というプロジェクトに使用されます。
- ◆ *myproject* の下に *myviews* フォルダを作成した場合、その中に保存したフォームは指定されたプロジェクトの *myviews* ビューで使用されます。

新しいフォームを保存するには:

- 1 メニューから **ファイル** ▶ **名前を付けて保存** を選択します。
- 2 StarTeam Extensions プロジェクトより、適切なフォルダを見つけて選択します。
- 3 **保存** をクリックします。

注: 手順 2 で サーバーとの接続が切れている場合は、フォルダ参照前に再びログオンが必要となります。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連手順

[StarTeam Layout Designer を起動して、フォームを開く](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

日付/時刻フィールドを設定する

日付/時刻タイプは、日付または時刻のフィールドを新規作成するために使用します。日付では日付のコンポーネントのみを使用しますが、時刻では日付と時刻の両コンポーネントを使用します。この手順は、「プロパティフィールドを新規作成する」に続くものです。

カスタムの日付または時刻フィールドを作成するには:

- 1 **フィールドの追加** ダイアログで、**タイプ** リスト ボックスから **日付/時刻** を選択します。
- 2 使用環境に適した形式で、**デフォルト値** テキスト ボックスにデフォルトの日付または時刻を入力しておくこともできます。プロパティとしてこのフィールドを使用するすべての既存のアイテムで、この値が自動的に使用されます。また、新規作成したアイテムのデフォルト値としても、この値が使用されます。この値は、アイテムの **プロパティ ダイアログ** の **カスタム** タブを使用して変更することができます。
日付/時刻フィールドにデフォルト値を設定しない場合、手作業で値を入力しない限り、値は空欄のままとなります。
- 3 **OK** をクリックします。

関連手順

[プロパティフィールドを新規作成する](#)

[列挙型フィールドを設定する](#)

[テキストフィールドを設定する](#)

[ユーザー ID フィールドを設定する](#)

[カスタム プロパティフィールドを表示する](#)

[表示名と列挙値を関連付ける](#)

[列挙型プロパティを作成する](#)

表示名と列挙値を関連付ける

カスタム フィールドを作成する際、そのフィールドに表示名を付けます。そのフィールドを列挙型として作成する場合、列挙値にも名前を付ける必要があります。これらの名前はすべて、クライアントでユーザーに表示されます。

カスタム フィールドの表示名や列挙値を翻訳するには:

1 次のいずれかを行います。

- ◆ **フィールドの追加** ダイアログ ボックスでのカスタム フィールド作成中に、**翻訳...** をクリックします。
- ◆ カスタム フィールドのプロパティを表示します。**ファイル** や **要求変更** メニューなど、アイテムのメニューの 1 つから **詳細 ▶ カスタマイズ...** を選択します。変更するフィールドを選択します。**編集...** をクリックすると、**フィールドの変更** ダイアログ ボックスにデフォルト値が表示されます。これらの値は、クライアントで表示されているものとは異なる場合があります。たとえば、デフォルトが英語で、Cross-Platform Client をフランス語ロケールで使用している場合があります。**翻訳...** をクリックします。**翻訳フィールド** ダイアログ ボックスが表示されます。

2 言語選択のドロップダウン リスト ボックスから目的の言語を選択します。表示されない場合には、**追加...** をクリックします。

言語の選択 ダイアログ ボックスの **言語** リスト ボックスから言語を選択します。「fr-FR」などそのロケール名から言語を素早く選択するには、**ユーザー定義** テキスト ボックスに既存のロケール名を入力します。新しいロケール名を入力します。ユーザー定義のロケール名は、ロケール名として次の表記規則に従わなければなりません。使用できるのは 8 文字まで: 英字、数字、そしてロケール名を 2 つまたは 3 つに区切るためのハイフンを 1 つか 2 つ。下線はハイフンとして表示します (空白文字は使用できません)。入力時の大文字小文字に関係なく、第 1 の部分は常に小文字、第 2 の部分は常に大文字になります。作成後、ユーザー定義の言語は現在のフィールドの言語リストのメンバーになります。他のフィールドに対しても同様に作成しない限り、他のフィールドでは使用できません。ユーザー定義の言語でその値を表示するには、ユーザーのワークステーションをそのロケールに設定する必要があります。

OK をクリックして、**翻訳の編集** または **翻訳フィールド** ダイアログ ボックスに戻ります。

1 つのフィールドに対して言語を 1 つ追加しても、それが他のフィールドの言語リストに自動的に追加されることはないので、注意してください。また、値を翻訳しなければ、その言語はそのフィールドの言語リストには表示されません。

- 3 **翻訳された表示名** テキスト ボックスに、そのフィールドの表示名を新しい言語で入力することもできます。
- 4 また、列挙値も翻訳することもできます。
- 5 OK をクリックして、**フィールドの追加** または **フィールドの変更** ダイアログ ボックスに戻ります。
- 6 OK をクリックして、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスに戻ります。
- 7 **閉じる** をクリックします。

列挙値の翻訳するには:

- 1 翻訳する列挙値を選択します。
- 2 **編集...** をクリックします。**列挙値の翻訳** ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 翻訳した値を **翻訳テキスト** ボックスに入力します。
- 4 OK をクリックして、**翻訳フィールド** ダイアログ ボックスに戻ります。
- 5 その他の列挙値についても手順 a ~ d を繰り返します。

関連概念

[ユーザー定義プロパティフィールド](#)

複合コントロールを作成する

複合コントロールを使用すれば、ユーザー インターフェイスの一部をそっくりフォームに組み込むことが容易になります。複合コントロールは、タブに存在する唯一のコントロールでなければなりません。複合コントロールが含まれているタブに単一コントロールを 1 つ以上追加すると、それらの単一コントロールは実行時には別のタブに配置されます。

ツール パレットから次の複合コントロールを作成することができます：

- ◆ カスタム プロパティ リスト コントロール
- ◆ 添付ファイル コントロール
- ◆ アイテム履歴コントロール
- ◆ アイテム ラベル コントロール
- ◆ アイテム リンク コントロール
- ◆ アイテム参照コントロール
- ◆ ユーザー リスト コントロール

複合コントロールを作成するには(一般的な方法)：

- 1 ツール パレットで作成したい複合コントロールのボタンをクリックします。マウス ポインタをフォーム レイアウト領域に移動すると、ポインタが十字形に変わります。
- 2 マウスをレイアウト領域までドラッグすることで、コントロールを作成します。コントロールの**新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 3 コントロール名に一意的な名前を入力し、**OK** をクリックします。

注： ツール パレットのボタンは、フォームに追加可能な単一コントロールのプロパティを表します。ボタンはすべてのアイテム タイプに適用できるとは限りません。たとえば、ユーザー リスト コントロールは変更要求ダイアログに追加することはできません。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

非プロパティコントロールのインスタンスを作成する

非プロパティコントロールとは、アイテム プロパティにリンクされていないスタンドアロン コントロールのことです。非プロパティコントロールには、ラベル、グループ、イメージ、スタティック テキストの各コントロールがあります。

ツール パレットから次の非プロパティコントロールを作成することができます。

- ◆ 非プロパティ コントロールの作成(全般)
- ◆ アイテム ラベル非プロパティコントロールの作成
- ◆ イメージ非プロパティ コントロールの作成
- ◆ グループ非プロパティ コントロールの作成
- ◆ スタティック テキスト非プロパティ コントロールの作成

非プロパティコントロール(全般)のインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットで、適切なボタンをクリックします。マウス ポインタをフォーム レイアウト領域に移動すると、ポインタが十字形に変わります。
- 2 フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグして、選択したコントロールのインスタンスをフォームに作成します。ダイアログ ボックスが開き、そのコントロールの名前を入力できるようになります。
- 3 コントロールに一意な ID を入力し、OK をクリックします。

アイテム ラベル コントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットのアイテム ラベル コントロールをクリックします。続いて、フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。コントロールの**新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 このラベルの割り当て先となるプロパティコントロールを選択し、OK をクリックします。
- 3 **Caption** の値を、デフォルト値の **ラベル:** から分かりやすいものに変更します。

イメージ コントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットのイメージ コントロールをクリックします。続いて、フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。コントロールの**新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 このフィールドの ID としてフォーム内で一意な名前を入力し、OK をクリックします。**イメージのインポート** ダイアログ ボックスが開きます。
- 3 目的の .gif ファイルまたは .jpg ファイルを見つけて選択し、**インポート** をクリックします。

グループ コントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットのグループ コントロールをクリックします。続いて、フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。コントロールの**新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 このフィールドの ID としてフォーム内で一意な名前を入力し、OK をクリックします。**イメージのインポート** ダイアログ ボックスが開きます。
- 3 目的の .gif ファイルまたは .jpg ファイルを見つけて選択し、**インポート** をクリックします。

スタティック テキスト非プロパティコントロールのインスタンスを作成するには:

- 1 ツール パレットのスタティック テキスト コントロールをクリックします。続いて、フォーム レイアウト領域をクリックしたあとドラッグすることで、そのコントロールを描画します。**コントロールの新規作成** ダイアログ ボックスが開きます。
- 2 **キャプションのみ** のチェック ボックスをオンにして、OK をクリックします。
- 3 表示する文字列をプロパティ ペインの **Caption** の値領域に入力します。

注: スタティック テキスト コントロールは、プロパティ コントロールにも非プロパティ コントロールにもなるという点で他とは異なります。プロパティ コントロールの場合は、プロパティの値がそこに表示され、ユーザーはそれを変更できません。非プロパティ コントロールの場合は、フォームに 1 行のテキストを表示するのに使用することができます。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)
[コントロール](#)

関連手順

[プロパティ コントロールのインスタンスを作成する](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

参照

ここでは、参照情報を提供します。

このセクションの内容

[StarTeam Layout Designer 参照](#)

StarTeam Layout Designer を使ったプロパティ ダイアログのカスタマイズに関する参照情報を提供します。

StarTeam Layout Designer 参照

ここでは、プロパティコントロールの属性に関する参照情報と StarTeam Layout Designer *.Layout.xml ファイルの XML 参照を提供します。

このセクションの内容

[利用可能なプロパティタイプ](#)

Layout Designer がサポートするプロパティタイプについて説明します。

[プロパティコントロール属性](#)

スタティックテキスト、ラジオセット、チェックボックス、テキストフィールド、テキスト領域、コンボボックス、リスト、日時、参照ボタンの各コントロールの、利用可能なプロパティコントロールについて説明します。

[非プロパティコントロール属性](#)

ラベル、画像、グループ、スタティックテキストの各コントロールの、利用可能な非プロパティコントロールについて説明します。

[複合コントロール属性](#)

利用可能な複合コントロール属性について説明します。

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

StarTeam Layout Designer が使用する各種 XML タグを説明する参照情報を提供します。

利用可能なプロパティタイプ

プロパティのデフォルトコントロールは、プロパティタイプに基づいて決まります。Layout Designer では、以下のプロパティタイプをサポートしています。

列挙型	<p>デフォルトでは、コンボ ボックス コントロールで表現されますが、リスト コントロールで代用しても問題ありません。列挙型はまた、必要に応じてチェック ボックスやラジオ セットで表現することもできます。</p> <p>整数 (INT32)</p> <p>実数 (FLOAT64)</p> <p>デフォルトでは、スタティック テキスト コントロールで表現されます。必要に応じて、テキスト編集、リスト ボックス、コンボ ボックス、チェック ボックス、ラジオ セットの各コントロールを使用することもできます。</p>
テキスト	<p>デフォルトでは、テキスト フィールド コントロールで表現されますが、Multi-line プロパティを Yes に設定することで、テキスト領域コントロールに変更することもできます。必要に応じて、スタティック テキスト、リスト、コンボ ボックス、チェック ボックス、ラジオ セットの各コントロールを使用することもできます。</p>
日付/時刻	<p>デフォルトでは、日時コントロールで表現されます。必要に応じて、スタティック テキスト、テキスト フィールド、リスト、コンボ ボックスの各コントロールも制限なく使用できます。また、value 属性値が以下のいずれかの場合に限り、チェック ボックス コントロールやラジオ セット コントロールを使用することもできます。</p> <p>ISO 8601 形式の日時文字列 (たとえば、“1994-11-05T13:15:30Z” など)</p> <p>now という特別な値 (ダイアログが現在のアイテムで初期化された日時と解釈される)</p>
ユーザー ID、ビュー ID、オブジェクト ID	<p>デフォルトでは、コンボ ボックス コントロールで表現されますが、リスト コントロールで代用しても問題ありません。スタティック テキストもサポートされています。これらのプロパティタイプの場合は、チェック ボックス コントロールやラジオ セット コントロールも使用できます。</p>
IDArray	<p>IDArray タイプのプロパティ (たとえば <userList> や <attachments> など) は場合によっては、複合コントロールとして表現したほうがより完全なことがあります。複合コントロールが用意されていない場合は、スタティック テキストとして表現するしかありません。</p>

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)

[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

プロパティコントロール属性

ここでは、ツールパレットにある単一プロパティコントロールと、編集可能なそれらのコントロールの属性値について説明します。

- ◆ スタティックテキストコントロール
- ◆ ラジオセットコントロール
- ◆ チェックボックスコントロール
- ◆ テキストフィールドコントロール

スタティックテキストコントロール

スタティックテキストコントロールは、プロパティコントロールにも非プロパティコントロールにもなるという点で他とは異なります。プロパティコントロールの場合は、プロパティの値がそこに表示され、ユーザーはそれを変更できません。非プロパティコントロールの場合は、フォームに1行のテキストを表示するのに使用することができます。

属性:

Caption	プロパティコントロールの場合は空のままにしておきます。実体を説明するテキストには、ラベルコントロールを使用します。
Text-align	(省略可能)表示されるテキストの配置(「Left」または「Right」)を決定します。

ラジオセットコントロール

少数の相互排他的な選択肢を表示する場合は、ラジオセットコントロールを使用します。

属性:

Text-align	(省略可能)ラジオセット内のすべてのラジオボタンとテキストの配置。「Left」を指定すると、テキストは左詰めになり、ボタンはテキストの左側に表示されます。「Right」を指定すると、テキストは右詰めになり、ボタンはテキストの右側に表示されます。デフォルトは「Left」です。
Rows	(省略可能)ラジオセット内のボタン行の数。
Columns	(省略可能)ラジオセット内のボタン列の数。
Horizontal Alignment	(省略可能)グループに含まれるラジオボタンの水平方向の配置(「Left」、「Right」、「Center」のいずれか)。
Vertical Alignment	(省略可能)グループに含まれるラジオボタンの垂直方向の配置(「Top」、「Middle」、「Bottom」のいずれか)。
Border	(省略可能)コントロールの境界線のスタイル(「Solid」、「Etched」、「None」のいずれか)。デフォルトは、「Solid」です。
Caption	当該コントロールについて説明したテキスト。
Label Position	キャプションテキストの位置。

チェックボックスコントロール

チェックボックスコントロールは、トグルスイッチすなわち二者択一コントロールとして使用します。

属性:

Checked State	チェックボックスがチェックされた状態にあるときのプロパティの値。
Unchecked State	チェックボックスがチェックされていない状態にあるときのプロパティの値。

Caption	(省略可能) 当該コントロールについて説明したテキスト。
Text-align	(省略可能) キャプション テキストの位置と配置。Text-align が「Left」の場合、テキストは左詰めになり、チェック ボックスはテキストの左側に表示されます。Text-align が「Right」の場合、テキストは右詰めになり、チェック ボックスはテキストの右側に表示されます。デフォルト値は「Left」です。
Tab Index	(省略可能) ユーザーが Tab キーを使ってコントロール間を移動する際のコントロールの相対的位置。
Access Key	(省略可能) ALT キーと一緒に押して当該フィールドにフォーカスを移すための 1 文字。この文字はキャプション テキストに含まれている必要があり、表示ではその部分に下線が引かれます。さらに、1 つのタブ内では各アクセス キーは互いに異なる必要があります。

テキスト フィールド コントロール

テキスト フィールド コントロールは、1 行だけのテキスト入力領域を提供するものです。このコントロールは、ユーザーがシステムに入力する必要のあるデータや短いコメントに使用します。テキスト フィールド コントロールは、ユーザーがテキストを入力できる空のボックスにすぎず、キャプションやラベルなどの説明用テキストは組み込まれていません。そのため、関連するラベル コントロールのインスタンスを作成して、フィールドの内容を説明するラベルを付けると共に、アクセス キーのターゲットを指定する必要があります。

属性:

Multi-line	(省略可能) コントロールのテキスト入力領域が複数行にわたってもよいかどうかを指定します (テキスト フィールド コントロールの場合は「No」)。
Text-align	(省略可能) コントロール内のテキストの配置 (「Left」または「Right」)。
Tab Index	(省略可能) ユーザーが Tab キーを使ってコントロール間を移動する際のコントロールの相対的位置。

テキスト領域コントロール

テキスト領域コントロールは複数行にわたるテキスト入力領域を提供するもので、大量のテキストの場合に役立ちます。テキスト領域コントロールは、ユーザーがテキストを入力できる空のボックスにすぎず、キャプションやラベルなどの説明用テキストは組み込まれていません。そのため、関連するラベル コントロールのインスタンスを作成して、フィールドの内容を説明するラベルを付けると共に、アクセス キーのターゲットを指定する必要があります。

属性:

Multi-line	(省略可能) コントロールのテキスト入力領域が複数行にわたってもよいかどうかを指定します (テキスト領域 コントロールの場合は「Yes」)。
Text-align	(省略可能) コントロール内のテキストの配置 (「Left」または「Right」)。
Tab Index	(省略可能) ユーザーが Tab キーを使ってコントロール間を移動する際のコントロールの相対的位置。

コンボ ボックス コントロール

コンボ ボックス コントロールは、表示フィールドが 1 行だけのリスト コントロールです。コンボ ボックス コントロールは、リストが表示される空のボックスにすぎず、キャプションやラベルなどの説明用テキストは組み込まれていません。そのため、関連するラベル コントロールのインスタンスを作成して、フィールドの内容を説明するラベルを付けると共に、アクセス キーのターゲットを指定する必要があります。

属性:

Height Extended	展開されたリストの縦方向の長さを、プラットフォームに依存しないダイアログ単位の倍数で表したものの。デフォルトは 100 です。
-----------------	---

Sort	(省略可能)リストをアルファベット順にソートするかどうかを指定します(「Yes」または「No」)。デフォルトは「No」です。
Tab Index	(省略可能)ユーザーが Tab キーを使ってコントロール間を移動する際のコントロールの相対的位置。

リスト コントロール

リストコントロールには、複数行にわたる値リストが表示されます。リスト コントロールは、リストが表示される空のボックスにすぎず、キャプションやラベルなどの説明用テキストは組み込まれていません。そのため、関連するラベル コントロールのインスタンスを作成して、フィールドの内容を説明するラベルを付けると共に、アクセス キーのターゲットを指定する必要があります。

属性:

Sort	(省略可能)リストをアルファベット順にソートするかどうかを指定します(「Yes」または「No」)。デフォルトは「No」です。
Tab Index	(省略可能)ユーザーが Tab キーを使ってコントロール間を移動する際のコントロールの相対的位置。

時間コントロール

時間コントロールには、日時に関係するプロパティが表示されます。

次の値を編集できます。

Tab Index	(省略可能)ユーザーが Tab キーを使ってコントロール間を移動する際のコントロールの相対的位置。
-----------	---

ボタン コントロール

ボタン コントロールの機能には、ファイルの参照(得られた完全パスとファイル名を関連するテキスト コントロールに挿入する)、フォルダの参照(得られた完全パスを関連するテキスト コントロールに挿入する)、コマンドの実行という3つの選択肢があります。参照ボタンを作成するには、まず、参照の結果得られたパスを保存するためのテキスト フィールドを作成する必要があります。これらのテキスト フィールドと参照ボタンを同一のプロパティに関連付けることで、参照ボタンの実行結果をテキスト フィールドに入力するようにシステムに指示することができます。実行コマンド ボタンを作成するには、まず、そのコマンドがすでに存在し、その完全パスと実行可能ファイル名がプロパティ(たとえば、[テスト コマンド] プロパティなど)に関連付けられている必要があります。

属性:

Caption	(省略可能)当該コントロールについて説明したテキスト。デフォルトでは、参照ボタンの場合は省略記号([...])が、実行コマンド ボタンの場合は [実行] が、それぞれキャプション テキストとして表示されます。
Tab Index	(省略可能)ユーザーが Tab キーを使ってコントロール間を移動する際のコントロールの相対的位置。
Access Key	(省略可能)ALT キーと一緒に押して当該ボタンにフォーカスを移すための1文字。この文字はキャプション テキストに含まれている必要があり、表示ではその部分に下線が引かれます。さらに、1つのタブ内では各アクセス キーは互いに異なる必要があります。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

非プロパティ コントロール属性

ここでは、ツール パレットにある単一プロパティ コントロールと、編集可能なそれらのコントロールの属性値について説明します。

- ◆ ラベル コントロール
- ◆ イメージ コントロール
- ◆ グループ コントロール
- ◆ スタティック テキスト コントロール

ラベル コントロール

ラベル コントロールは、別のコントロールのテキスト ラベルになるもので、割り当て先のコントロールより先に作成することはできません。ラベル コントロールは、テキスト フィールド、テキスト 領域、コンボ ボックス、リストの各コントロールの説明に使用します。これらのコントロールには、キャプションやラベルなどの説明用テキストが組み込まれていないからです。

アクセス キーはテキスト ラベルに付属するもののため、Access Key 属性は、キャプション テキストを持たないコントロールではなく、ラベル コントロールの方に割り当てられます。これに対し、Info-Tip 属性は、ラベル コントロールにもプロパティ コントロールにも割り当てることができます。

属性:

Control	このラベルが関連付けられているコントロール。
Caption	(省略可能) 当該コントロールに表示されるテキスト。
Access Key	(省略可能) ALT キーと一緒に押して当該フィールドにフォーカスを移すための 1 文字。この文字はキャプション テキストに含まれている必要があり、表示ではその部分に下線が引かれます。さらに、1 つのタブ内では各アクセス キーは互いに異なる必要があります。
Info-Tip	(省略可能) マウス ポインタをコントロールの上で静止させたときにポップアップするツールチップに表示されるテキスト。テキストが入力されない場合は、ツールチップはポップアップしません。

イメージ コントロール

イメージ コントロールを使用すれば、ロゴなどの画像をフォーム上に埋め込むことができます。Layout Designer では、GIF 形式 (.gif) と JPEG 形式 (.jpg) の画像をサポートしています。

属性:

Image	通常は「利用可能」ですが、画像データが見つからなかったり破損している場合は「不明」になります。
Content Type	画像ファイルの形式を示す MIME タイプ (「image/gif」または「image/jpeg」)。

グループ コントロール

最初のセクションに複数のサブピックがある場合、テキスト内にどのようなピックが出てくるのかを読み手に紹介します。

属性:

Horizontal Alignment	(省略可能) グループに含まれる子コントロールの水平方向のデフォルト配置 (「Left」、「Right」、「Center」のいずれか)。
Vertical Alignment	(省略可能) グループに含まれる子コントロールの垂直方向のデフォルト配置 (「Top」、「Middle」、「Bottom」のいずれか)。

Border	(省略可能)コントロールの境界線のスタイル(「Solid」、「Etched」、「None」のいずれか)。デフォルトは「None」です。
Caption	当該コントロールについて説明したテキスト。
Label Position	キャプション テキストの位置(「Above」、「Below」、「Left」、「Right」のいずれか)。デフォルトは「Above」です。
Text-align	キャプション テキストの配置(「Left」または「Right」)。

スタティック テキスト コントロール

スタティック テキスト コントロールは、プロパティ コントロールにも非プロパティ コントロールにもなるという点で他とは異なります。プロパティ コントロールの場合は、プロパティの値がそこに表示され、ユーザーはそれを変更できません。非プロパティ コントロールの場合は、フォームに 1 行のテキストを表示するのに使用することができます。

属性:

Caption	プロパティ コントロールの場合は空のままにしておきます。実体を説明するテキストには、ラベル コントロールを使用します。
Text-align	(省略可能)表示されるテキストの配置(「Left」または「Right」)を決定します。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)

[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

複合コントロール属性

ここでは、ツール パレットにある複合プロパティコントロールとその属性値を示します。

利用可能な複合コントロール

複合コントロールには以下のものがあります。

- ◆ カスタム プロパティ リスト コントロール
- ◆ 添付ファイル コントロール
- ◆ アイテム履歴コントロール
- ◆ アイテム ラベル コントロール
- ◆ アイテム リンク コントロール
- ◆ アイテム参照コントロール
- ◆ ユーザー リスト コントロール

複合コントロール属性

すべての複合コントロールには以下の属性があります。

Name	コントロールの一意な名前。デフォルトでは、これらの一意な名前は、プロパティ名またはコントロール名の後に 2 桁の通し番号を付けて自動的に生成されます。
X Position	コントロールの左上隅の X 座標(フォームの X 軸方向すなわち横軸方向の位置)をダイアログ単位* の倍数で表したもの。
Y Position	コントロールの左上隅の Y 座標(フォームの Y 軸方向すなわち縦軸方向の位置)をダイアログ単位* の倍数で表したもの。
Width	コントロールの横方向の長さをダイアログ単位* の倍数で表したもの。
Height	コントロールの縦方向の長さをダイアログ単位* の倍数で表したもの。
Auto Move	(省略可能)ダイアログのサイズが変更されたときにコントロールが自動的に位置を変更できるかどうかを指定します(「None」、「Horizontal」、「Vertical」、「Both」のいずれか)。デフォルトは「None」です。
Auto Size	(省略可能)ダイアログのサイズが変更されたときにコントロールが自動的にサイズを変更できるかどうかを指定します(「None」、「Horizontal」、「Vertical」、「Both」のいずれか)。デフォルトは「None」です。
プロパティ	コントロールでフォームに表示されるアイテム プロパティの名前。
Tab Index	(省略可能)ユーザーが Tab キーを使ってフォーム内で挿入ポイントを移動するときにコントロールにフォーカスが来る順番。
Info-Tip	(省略可能)マウス ポインタをコントロールの上で静止させたときにポップアップするツールチップに表示されるテキスト。テキストが入力されない場合は、ツールチップはポップアップしません。

注: * ダイアログ単位はプラットフォームに依存しない測定単位で、実行時に表示フォントのサイズを考慮してターゲットプラットフォームのレンダリング エンジンでピクセル数に変換されるものです。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

StarTeam Layout Designer XML タグ

ここでは、StarTeam Layout Designer XML スキーマに定義されている個々の要素について詳しく説明します。要素はアルファベット順に登場します。

このセクションの内容

[approvalTasks](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<approvalTasks>` 要素について説明します。

[attachments](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<attachments>` 要素について説明します。

[browseFileButton](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<browseFileButton>` 要素について説明します。

[browseFolderButton](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<browseFolderButton>` 要素について説明します。

[checkbox](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<checkbox>` 要素について説明します。

[controlGroup](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<controlGroup>` 要素について説明します。

[dateTime](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<dateTime>` 要素について説明します。

[droplist](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<droplist>` 要素について説明します。

[edit](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<edit>` 要素について説明します。

[eolSettings](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<eolSettings>` 要素について説明します。

[form](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<form>` 要素について説明します。

[itemHistory](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<itemHistory>` 要素について説明します。

[itemLabels](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<itemLabels>` 要素について説明します。

[itemLinks](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<itemLinks>` 要素について説明します。

[itemReferences](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<itemReferences>` 要素について説明します。

[label](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<label>` 要素について説明します。

[listbox](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<listbox>` 要素について説明します。

[pathSettings](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<pathSettings>` 要素について説明します。

[property](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<property>` 要素について説明します。

[propertyDialog](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<propertyDialog>` 要素について説明します。

[propertyList](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<propertyList>` 要素について説明します。

[propertyPage](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<propertyPage>` 要素について説明します。

[propertySheet](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<propertySheet>` 要素について説明します。

[radio](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<radio>` 要素について説明します。

[radioset](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<radioset>` 要素について説明します。

[runCommandButton](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<runCommandButton>` 要素について説明します。

[static](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<static>` 要素について説明します。

[taskDependencies](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<taskDependencies>` コントロールについて説明します。

[toBeReviewed](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<toBeReviewed>` 要素について説明します。

[userList](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<userList>` 要素について説明します。

[workRecords](#)

Layout Designer XML スキーマに定義されている `<workRecords>` 要素について説明します。

approvalTasks

<approvalTasks> は、**ファイルのプロパティ** ダイアログ ボックスの **認証** タブに承認タスクのリストを表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。

関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

attachments

<attachments> は、添付ファイルの表示と編集(必要な場合のみ)に使用されるカスタム コントロールを表します。このコントロールはタブに存在する唯一のコントロールでなければなりません。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要なすべてのボタン([追加],[削除]など)を始めとするさまざまなコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

browseFileButton

<browseFileButton> は、[ファイル参照](#) ダイアログ ボックスを開き、そこで得られた完全パスを、関連付けられているテキスト値プロパティに挿入するボタンを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Caption	(省略可能)このボタンに表示されるスタティック テキスト文字列。キャプションが指定されていない場合は、“...” になります。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Access Key	(省略可能)このボタンのキーボード アクセラレータとして使用される文字。たとえば、Access Key が “x” の場合には、ALT+X キーを押すとフォーカスがこのボタンに移り、ダイアログ ボックスが開かれます。アクセス キー文字はボタンのキャプションに含まれている必要があり、そうでない場合、アクセス キーは無視されます。表示では、この文字の部分に下線が引かれます。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

browseFolderButton

<browseFolderButton> は、**フォルダ参照** ダイアログ ボックスを開き、そこで得られた完全パスを、関連付けられているテキスト値プロパティに挿入するボタンを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意的 ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Caption	(省略可能)このボタンに表示されるスタティック テキスト文字列。キャプションが指定されていない場合は、“...” になります。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Access Key	(省略可能)このボタンのキーボード アクセラレータとして使用される文字。たとえば、Access Key が “x” の場合には、ALT+X キーを押すとフォーカスがこのボタンに移り、ダイアログ ボックスが開かれます。アクセス キー文字はボタンのキャプションに含まれている必要があり、そうでない場合、アクセス キーは無視されます。表示では、この文字の部分に下線が引かれます。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

checkbox

<checkbox> は、プロパティ ダイアログ内のチェックボックスを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Checked State	チェックされたときのプロパティの値。
Unchecked State	チェックされていないときのプロパティの値。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Caption	(省略可能)このボタンに表示されるスタティック テキスト文字列。キャプションが指定されていない場合は、空文字列になります。
Text-align	(省略可能)テキストの配置: 「Left」か「Right」。Text-align が「Left」の場合、テキストは左詰めになり、チェックボックスはテキストの左側に表示されます。Text-align が「Right」の場合、テキストは右詰めになり、チェックボックスはテキストの右側に表示されます。デフォルト値は「Left」です。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Access Key	(省略可能)このボタンのキーボード アクセラレータとして使用される文字。たとえば、Access Key が “x” の場合には、ALT+X キーを押すとフォーカスがこのボタンに移り、ダイアログ ボックスが開かれます。アクセス キー文字はボタンのキャプションに含まれている必要があり、そうでない場合、アクセス キーは無視されます。表示では、この文字の部分に下線が引かれます。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

controlGroup

<controlGroup> は、複数の子コントロールから成るコントロールを表します。コントロール グループでは、グループ内の子コントロールのレイアウトに関するヒント(水平および垂直方向のデフォルト配置)を指定することができ、それは、クライアントのレンダリングが正確でない場合に用いられます。

このコントロール グループに含まれる子コントロールの集合は、子要素を使って表現されます。子コントロールの座標系は、親であるコントロール グループのクライアント領域を基準にしたものとみなされます。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Text-align	(省略可能)テキストの配置: 「Left」か「Right」。Text-align が「Left」の場合、テキストは左詰めになり、チェック ボックスはテキストの左側に表示されます。Text-align が「Right」の場合、テキストは右詰めになり、チェック ボックスはテキストの右側に表示されます。デフォルト値は「Left」です。
Horizontal Alignment	(省略可能)このコントロール グループに含まれる子コントロールの水平方向のデフォルト配置: 「Left」、「Right」、「Center」のいずれか。子コントロールの実際の表示サイズがレイアウトで指定されたサイズと異なる場合に役立ちます。デフォルト値は「Left」です。
Vertical Alignment	(省略可能)このコントロール グループに含まれる子コントロールの垂直方向のデフォルト配置: 「Top」、「Middle」、「Bottom」のいずれか。子コントロールの実際の表示サイズがレイアウトで指定されたサイズと異なる場合に役立ちます。デフォルト値は「Top」です。
Border	(省略可能)境界線のスタイル: 「None」、「Solid」、「Etched」のいずれか。デフォルト値は「Solid」です。

子要素

コントロールの 1 つ以上の下位要素。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

dateTime

<dateTime> は、日時編集コントロールを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

droplist

<droplist> は、ドロップダウン リスト コントロールを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Height Extended	展開(ドロップダウン)した状態でのコントロールの高さ
Sort	(省略可能)クライアント側で値を表示名でアルファベット順にソートしなければならないかどうかを示します。指定できる値は「Yes」か「No」です。デフォルト値は「No」で、値はワークフロー エンジンから提供された順に並びます。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

edit

<edit> は、編集コントロールを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Multi-line	(省略可能)複数行をサポートするかどうか: 「Yes」か「No」。デフォルトでは、複数行はサポートされません。
Text-align	(省略可能)テキストの配置: 「Left」か「Right」。デフォルト値は「Left」です。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

eolSettings

<eolSettings> は、フォルダのプロパティ ダイアログ ボックスの **ファイル** タブの “EOL の変換” セクションのコントロールを表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

form

<form> は、ただ 1 つのダイアログ ボックスから成るレイアウトを表します。<form> は常にちょうど 1 つだけ存在し、現在 <propertyDialog> 要素の唯一の子要素となっています。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Caption	(省略可能)このフォームのタイトルとして表示されるスタティック テキスト文字列。
Sizeable	(省略可能)このダイアログがサイズ変更可能かどうかを示します。値は「Yes」か「No」。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Access Key	(省略可能)このボタンのキーボード アクセラレータとして使用される文字。たとえば、Access Key が “x” の場合には、ALT+X キーを押すとフォーカスがこのボタンに移り、ダイアログ ボックスが開かれます。アクセス キー文字はボタンのキャプションに含まれている必要があり、そうでない場合、アクセス キーは無視されます。表示では、この文字の部分に下線が引かれます。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

常に、<propertySheet> がちょうど 1 つ含まれています。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

itemHistory

<itemHistory> は、履歴リストの表示に使用されるカスタム コントロールを表します。このコントロールは、現在 Web Edition ではサポートされていません。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

itemLabels

<itemLabels> は、与えられたアイテムに関連付けられているラベルのリストを表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。<itemLabels> コントロールは現在、**フォルダのプロパティ ダイアログ ボックスの ラベル タブ**でのみ使用されています。このコントロールは、現在 Web Edition ではサポートされていません。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

itemLinks

<itemLinks> は、アイテムに関連付けられているリンクのリストを表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。<itemLinks> コントロールは現在、**フォルダのプロパティ** ダイアログ ボックスの **履歴** タブでのみ使用されています。このコントロールは、現在 Web Edition ではサポートされていません。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

itemReferences

<itemReferences> は、アイテムへの参照のリストを表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。
<itemReferences> コントロールは現在、既存のダイアログ ボックスでは一切使用されていません。完全性を保つために含まれているだけです。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

label

<label> は、スタティック テキストに似ていますが、それとは異なり、常に別のコントロールに関連付けられます。現在、<label>、<checkbox>、<radio> を除き、どのコントロール要素もラベルを関連付けることができます。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意的な ID。
Control	このラベルが関連付けられているコントロールの名前(一意な ID)。ラベルを関連付けることができるコントロールタイプの一覧については、上記説明を参照してください。
Label Position	割り当て先のコントロールを基準にしたラベルの相対的な位置: 「Above」、「Below」、「Left」、「Right」のいずれか。フォームのサイズを変更すると、ラベルの割り当て先のコントロールがその Auto Move 属性と Auto Size 属性の値に従って移動およびサイズ変更され、そのあと、このコントロールの新しい位置とサイズを基準にしてラベルが再配置されます
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
text-align	(省略可能)テキストの配置: 「Left」か「Right」。デフォルト値は「Left」です。
Caption	(省略可能)ラベルとして表示されるスタティック テキスト文字列。キャプションが指定されていない場合は、ラベルが関連付けられているプロパティコントロールの表示名がラベル テキストとして使用されます。
accesskey	(省略可能)このボタンのキーボード アクセラレータとして使用される文字。たとえば、Access Key が “x” の場合には、ALT+X キーを押すとフォーカスがこのボタンに移り、ダイアログ ボックスが開かれます。アクセス キー文字はボタンのキャプションに含まれている必要があり、そうでない場合、アクセス キーは無視されます。表示では、この文字の部分に下線が引かれます。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

listbox

<listbox> は、リスト コントロールを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Sort	(省略可能)クライアント側で値を表示名でアルファベット順にソートしなければならないかどうかを示します。指定できる値は「Yes」か「No」です。デフォルト値は「No」で、値はワークフロー エンジンから提供された順に並びます。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

pathSettings

<pathSettings> は、**フォルダのプロパティ** ダイアログ ボックスの **ファイル** タブの “ファイル パスの表記規則” セクションのコントロールを表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

property

<property> は、プロパティリストに含まれるプロパティを表します。親要素は <propertyList> でなければなりません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	プロパティリストに含まれるアイテム プロパティの名前。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

propertyDialog

<propertyDialog> は、ダイアログ レイアウトのルート要素を表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
item-type	このレイアウトの対象となるアイテム タイプ。たとえば、“File”、“ChangeRequest” など。
version	バージョン文字列。現在は “1.0”。

子要素

常に、<form> がちょうど 1 つ含まれています。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

propertyList

<propertyList> は、プロパティリストの表示に使用されるカスタム コントロールを表します。ダイアログ エディタでは現在、<propertyList> コントロールのインスタンスはダイアログ全体で多くとも 1 つしか存在しないと仮定しています。このコントロールはタブに存在する唯一のコントロールでなければなりません。

一連のユーザー定義プロパティを表示する場合は、子要素である <property> を使って表現します。これらは通常、ユーザー定義プロパティに対応しますが、必ずそうでなければならないわけではありません。子要素の順序は重要な意味を持っています。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、コントロールに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。

このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

ゼロ個以上の <property> 要素。プロパティが明示的に指定されない場合は、ダイアログ ボックス内で暗黙的に指定されているユーザー定義プロパティがすべてデフォルトで組み込まれます。プロパティは、表示されないページ上に指定されていても、ダイアログに含まれているものとみなされます。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

propertyPage

<propertyPage> は、プロパティシート内のプロパティ ページを表します。常に、<propertySheet> 要素の子要素になります。プロパティシート内のプロパティ ページの順序は、重要な意味を持っています。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このプロパティ ページの一意な ID。これは、キャプションに加えて、将来さまざまなコンテキストに対応した単一タブの複数バリエーション(おそらくは、その時々で表示されるのは 1 つのバリエーションのみ)をサポートするためのものです。
caption	このプロパティ ページのタブに表示されるスタティック テキスト文字列。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

コントロールのゼロ個以上の下位要素。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

propertySheet

<propertySheet> は、プロパティシートを表します。現在は、ダイアログごとに <propertySheet> がちょうど 1 つだけ存在し、それが <form> 要素の唯一の子要素となっています。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	このプロパティ シートの左端の Y 座標(親要素のクライアント領域を基準とした相対的位置)。現在、親要素は常に <form> で、X Position の値は常にゼロです。
X Position	このプロパティ シートの左端の X 座標(親要素のクライアント領域を基準とした相対的位置)。現在、親要素は常に <form> で、X Position の値は常にゼロです。
Width	このプロパティ シート全体の幅。
Height	このプロパティ シート全体の高さ。
Position	含まれている <propertyPage> 要素を基準にしたタブの相対的な位置: 「Above」、「Below」、「Left」、「Right」のいずれか。

子要素

<propertyPage> 要素が 1 つ以上含まれています。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

radio

<radio> は、ラジオ ボタンを表します。親要素は <radioset> でなければなりません。個々のラジオ ボタンに親要素 <radioset> の座標系を基準にした正確な位置を指定しても、ボタンは実際にはダイアログ エディタにより何行かまたは何列か(あるいはその両方)に整列されます。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
value	このラジオ ボタンで表されるプロパティ値 (プロパティ名は親要素 <radioset> の属性として与えられます)。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Caption	(省略可能)このボタンに表示されるスタティック テキスト文字列。キャプションが指定されない場合、関連するプロパティ値の表示名がデフォルトで使用されます。
accesskey	(省略可能)このボタンのキーボード アクセラレータとして使用される文字。たとえば、Access Key が “x” の場合には、ALT+X キーを押すとフォーカスがこのボタンに移り、ダイアログ ボックスが開かれます。アクセス キー文字はボタンのキャプションに含まれている必要があり、そうでない場合、アクセス キーは無視されます。表示では、この文字の部分に下線が引かれます。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

radioset

<radioset> は、一連のラジオ ボタンを表します。

個々のボタンは子要素 <radio> で表されます。子であるラジオ ボタンの座標系は、親である <radioset> のクライアント領域を基準にしたものとみなされます。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの名前。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Text-align	(省略可能)テキストの配置: 「Left」か「Right」。radioset 内のすべての <radio> ボタンに適用されます。Text-align が「Left」の場合、テキストは左詰めになり、ボタンはテキストの左側に表示されます。Text-align が「Right」の場合、テキストは右詰めになり、ボタンはテキストの右側に表示されます。デフォルト値は「Left」です。
Rows	(省略可能)個々のラジオ ボタンはダイアログ エディタにより行列状に配置されており、この属性はその行数を表します。行数が指定されない場合は、列数と子である <radio> ボタンの総数から決定することができます。行数も列数も指定されない場合、<radioset> 内の個々のボタンのレイアウトは不定になります。
Columns	(省略可能)個々のラジオ ボタンはダイアログ エディタにより行列状に配置されており、この属性はその列数を表します。列数が指定されない場合は、行数と子である <radio> ボタンの総数から決定することができます。行数も列数も指定されない場合、<radioset> 内の個々のボタンのレイアウトは不定になります。
Horizontal Alignment	(省略可能)このグループに含まれるラジオ ボタンの水平方向のデフォルト配置: 「Left」、「Right」、または「Center」。子コントロールの実際の表示サイズがレイアウトで指定されたサイズと異なる場合に役立ちます。デフォルト値は「Left」です。
Vertical Alignment	(省略可能)このグループに含まれるラジオ ボタンの垂直方向のデフォルト配置: 「Top」、「Middle」、「Bottom」のいずれか。子コントロールの実際の表示サイズがレイアウトで指定されたサイズと異なる場合に役立ちます。デフォルト値は「Top」です。
Border	(省略可能)境界線のスタイル: 「None」、「Solid」、「Etched」のいずれか。デフォルト値は「None」です。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。

子要素

複数の <radio> 要素。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

runCommandButton

<runCommandButton> は、所定のテキスト値プロパティによって指定されたシステム コマンドの実行を試みるボタンを表します。

このボタンがクリックされると、当該プロパティの値がシステム コマンドとして解釈され実行されます。

その値が現在のクライアント プラットフォームに有効なシステム コマンドを表していない場合は、エラーが発生します。コマンドを検証してから実行を試みるわけではありません。

当該プロパティの値が空文字列の場合は、このボタンは無効になっているはずですが、また、クライアント プラットフォームでシステム コマンドの実行がサポートされていない場合も、このボタンは無効になっているはずですが。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。現在、これはテキスト値プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Caption	(省略可能)このボタンに表示されるスタティック テキスト文字列。キャプションが指定されていない場合は、“実行” になります。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Access Key	(省略可能)このボタンのキーボード アクセラレータとして使用される文字。たとえば、Access Key が “x” の場合には、ALT+X キーを押すとフォーカスがこのボタンに移り、ダイアログ ボックスが開かれます。アクセス キー文字はボタンのキャプションに含まれている必要があり、そうでない場合、アクセス キーは無視されます。表示では、この文字の部分に下線が引かれます。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの “ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

static

<static> は、スタティック テキスト コントロールを表します。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの内部名。Caption 属性と Property 属性は相互排他的です。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Caption	このコントロールに表示されるスタティック テキスト文字列。Caption 属性と Property 属性は相互排他的であり、与えられたどのスタティック コントロールにも、両方ではなくどちらか一方のみ指定する必要があります。
Text-align	(省略可能)テキストの配置: 「Left」か「Right」。デフォルト値は「Left」です。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

taskDependencies

<taskDependencies> コントロールは、**タスクのプロパティ** ダイアログ ボックス([タスク <タスク番号>, リビジョン <リビジョン番号>]) のタスク依存関係を表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要なすべてのボタン([追加]、[削除] など)を始めとするさまざまなコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールのツールチップ ロールオーバー ヘルプとして表示される、静的テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

toBeReviewed

<toBeReviewed> は、**タスクのプロパティ** ダイアログの **認証** タブに確認するファイルを表示するのに使用されるカスタム コントロールを表します。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要な各種のコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールの“ツールチップ” ロールオーバー ヘルプとして表示されるスタティック テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

userList

<userList> コントロールは、ユーザーやグループのリストの表示に使用されるカスタム コントロールを表し、必要に応じてリストが編集できるようにします。このコントロールはタブに存在する唯一のコントロールでなければなりません。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要なすべてのボタン([追加]、[削除] など)を始めとするさまざまなコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name(名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Property	関連付けられているアイテム プロパティの名前。これは IDARRAY プロパティでなければならず、そのメンバがユーザー ID になります。
lengthProperty	対応する IDARRAY の長さを値とする関連アイテム プロパティの名前。これは INT32 プロパティでなければなりません。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能)ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能)このコントロールのツールチップ ロールオーバー ヘルプとして表示される、静的テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

workRecords

<workRecords> コントロールは、**タスクのプロパティ** ダイアログ ボックス ([タスク <タスク番号>, リビジョン <リビジョン番号>]) の作業記録を表示するのに使用されるカスタム コントロールを表し、必要に応じてそれらを編集できるようにします。

このカスタム コントロールの境界ボックス情報は、必要なすべてのボタン ([追加]、[削除] など) を始めとするさまざまなコントロール コンポーネントに割り当てられる領域全体を表します。境界ボックス内の個々のコンポーネントを適切にレイアウトするのは、クライアント アプリケーション側の責任です。関連する <label> や <controlGroup> は組み込まれていないため、別途指定する必要があります。

このカスタム コントロールに含まれている個々のコントロールには、タブ順序、アクセス キー、およびツールチップが独自に割り当てられている場合があります。これは現在、このコントロール固有の実装部分であり、カスタマイズすることはできません。

属性

この要素の属性を、次の表で説明します。

Name (名前)	説明
Name	このコントロールの一意な ID。
Y Position	上端の Y 座標。
X Position	左端の X 座標。
Width	このコントロールの幅。
Height	このコントロールの高さ。
Tab Index	(省略可能) ダイアログ ページにおけるこのコントロールのタブ順序。
Info-Tip	(省略可能) このコントロールのツールチップ ロールオーバー ヘルプとして表示される、静的テキスト文字列。ツールチップが指定されていない場合は、ロールオーバー ヘルプは表示されません。

子要素

なし。

関連概念

[StarTeam Layout Designer を使用したプロパティ ダイアログのカスタマイズ](#)
[StarTeam Layout Designer のユーザー インターフェイス](#)

関連参照

[StarTeam Layout Designer XML タグ](#)

索引

APE, プロジェクトで使用する, 46
EnteredBy, 26
Layout Designer を開く, 21
カスタム プロパティを表示する, 24
コントロール タブの順序, 25
コントロールを描画する, 33
タブを編集する, 28
テキスト フィールド, 30
フォームを保存する, 49
フォームを編集する, 31
プロパティ フィールド, 16
ユーザー ID フィールド, 38
代替プロパティ エディタ, 14
列挙型フィールド, 47
列挙型プロパティを作成する, 48
名前と値を関連づける, 51
日付/時刻フィールド, 50
複合コントロール, 52
詳細ペイン
 カスタマイズする, 22
非プロパティ コントロール, 53